京城日報

廿三日夕刊
本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五拾錢(郵税共) [illegible]
廣告料 五號活字一行金七拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 金口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]　振替貯金口座京城[illegible]

◎對米抗議の提出

珍田駐米大使は二十一日移民修正案中より日本人排斥條項を删除すべき旨の抗議をウキルソン大統領に提出せり(紐育電報)

▲大統領との會見の內容

珍田大使とウキルソン大統領との會見內容要領は下の如し即ち大使は目下上院にて討議されつゝある移民案の條項に對し日本の輿論が益々面白からざる影響を呈し來れること並に人種問題に基く反米感情の高まらんとする恐れあることを述べたるに之れに對し大統領は移民案中の面白からざる文句條項を削除し得る見込ある旨を答へたり民主黨下院々內總理キッチン氏も亦該案が大統領の拒否の爲再審議に附せらるゝ場合には該法案を修正する見込ありと云へり(紐育電報)

◎段祺瑞の國務卿就任

段祺瑞氏は二十一日政府組織令により國務卿に就任の手續をなし二十二日正式に發表されたり(北京特電)

◎獨軍の逆襲を撃退す

巴里來電公報に曰く佛軍の攻擊はモルトム地方に於て繼續進行し更に多數の捕虜を得たり獨軍は薄暮猛烈なる砲擊を行ひたる後ドーモン及びヴォー湖水の中間二基米突に亙る戰線に向つて有力なる攻擊を開始しドーモン砲臺の南方及ヴォー湖水の北方にて足場を得たるも佛軍は夜間逆襲を行ひて獨軍を完全に驅逐したり佛軍は又ドーモンの西方に於て前進せり(倫敦電報)

◎米國の對獨態度強硬

華盛頓來電に依れば駐米獨逸大使ベルンスドルフ伯は國務卿ランシング氏と會見協議したるが其目的は獨逸の回答に關し此の上時間の猶豫を得んとするにあるもの如しされど國務卿は冷然として之れを迎へ米國は二十日の對獨通牒に對する回答に接する迄は其の態度を變ぜざるべき旨を仄かしたりと(倫敦電報)

◎對獨通牒提出

アムステルダム來電に依れば駐獨米國大使は二十日潜航艇戰に關する對獨通牒を獨逸政府に提出したり(倫敦電報)

◎獨將逝く

伯林來電に據ればフォン、デルゴルツ元帥は十七日逝去せり(倫敦電報)

◎間島防穀解禁期

間島防穀は現在穀物案外多き爲め近く解禁さるべし(淸津特電)

◎鯡輸入の盛況

本月一日以來廿日迄の浦鹽鯡輸入數は一千萬尾此價格六萬圓に達して盛況なり(淸津特電)

◎交替野砲聯隊

交替兵第一梯團として野砲二十五聯隊本部は二十三日朝松山丸にて上陸一泊し廿四日同羅南に赴くべし(淸津特電)

◎北鮮より

▲國境と貿易 客月中に於ける國境各地の主なる貿易狀況を聞くに慶興は輸出額六千三百圓輸入額七百八十三圓にして前年同期に比すれば輸出に於て四千二百三十九圓の激增輸入に於て僅に七十四圓の減退となれり而して輸出品の主要なるものは石油白米及卷煙草等にて輸入品は大豆石油豆粕小豆等なりとす仁遮堡は輸出三千七百九圓にして前年同期より增加する事二千三百八十九圓輸入八百四十四圓にして前年同期に比し三十九圓の增加を見たるのみ今之れが主なる貿易品を擧ぐれば輸出品中精粟、玉蜀黍、大豆、食鹽、生金巾等にて輸入品は大麥、稗、木鉢、生牛皮等なり

▲咸南の市場 咸鏡南道に於ける市場は總數五十九箇所にして大正四年末の調査に依れば總開市回數五千九百九十四取引額百六十六萬七千三百一圓に達し大正三年に對比し十五萬一千一百三十一圓の增加を示せり取引物資の主なるものは農産物三十八萬九千五百七十五圓水産物の二十三萬六千五百八十五圓織物三十七萬五千七百四十九圓畜産類の卅八萬五千四百五十六圓等なりと而して各市場を各郡別に示せば次の如し(元山)

咸興郡九 邑內五老里下通里地境里[illegible]
[illegible]定平郡四 邑內[illegible]
[illegible]文川郡五 邑內[illegible]安邊郡
五 邑內[illegible]洪原郡四 邑內
[illegible]北青郡四 邑內新昌新浦陽化[illegible]
[illegible]端川郡五 邑內[illegible]
[illegible]甲山郡三 [illegible]豐山郡
一 新登市三水郡一 [illegible]甲山郡三 邑內
惠山鎭上里

◎新嘗祭獻穀者

本年の新嘗祭獻穀奉仕者は愈々左の如く決定したり

京畿道富川郡桂南面梧柳里 米 奉獻者 小峰源作
黃海道海州郡月祿面桑林里 粟 奉獻者 吳昌煥

而して右兩氏とも既に齋田を定め黃海道吳氏は二十二日其地鎭祭を執行したるが京畿道小峰氏は二十六日地鎭祭を執行する筈

◎蟹大漁場發見

鱈場蟹は朝鮮東海にては群山岬近海より北豆滿江に至る全沿海に亙り棲息するを認むるも今日の漁場は何れも粗放なる鮮人の自然發見に任せ、其分布の疎密、遷移の狀況等明らかならざるより總督府水産課にては之れが漁場を明かにし本漁業の啓發を圖る目的を以て本年二月下旬より四月に亙り江原道並に咸鏡南道沿海一帶に於て漁撈試驗を行ひしが其結果非常に良好にして江原道長箭近海の如きは其分布、棲息共濃厚を極め內地の本場と稱せらるゝ樺太沿海に劣らざる漁場を發見せりと、たらば蟹は內地の罐詰中外國輸出品の首位を占め其名聲各國に高きを以て朝鮮に於ても亦此豊富なる漁場の開拓と相俟つて遠からず罐詰事業の勃興を見るに至る可し

◎朝鮮運輸聯合會

二十二日午後一時より龍山八景園に於て朝鮮運輸聯合會の第九回定期總會を開き會議後會長に大和與次郎(龍山)副會長に小林源次郎(平壤)理事に河村千次郎、近藤修(京城)川添三次、川井田彌次郎、川手今吉(仁川)白垣善四郎(釜山)滿鮮運送株式會社(新義州)監事に山北貞助(大田)近藤近(沙里院)合資會社丸吉陸送部(元山)の諸氏を選擧し中村芳松氏を相談役に推選し鐵道局の横井、稻垣、加藤の各課長及び安藤參事を招待して懇親會を催し來賓横井汽車課長、相談役松原榮氏の感想談あり十時過散會せり

◎淸會線隧道貫通

淸會線隧道中二位の長距離なる第一號隧道延長三千三十三呎は去る十八日貫通するに至り既貫通五號隧道と併せ今回盛大なる貫通祝賀會を催せり而して茂山七個隧道中未だ貫通せざるは七號隧道のみなりと(元山)

◎宮三面灌漑調査

東拓に於て全南宮三面の平野四百餘町歩に對する灌漑工事の計畫ある事は既報せしが廿二日小阪土木課技手其實行調査に關する要務を帶び全南に向へり

◎平壤丸船長審理

二月下旬神戶港口にて日郵汽船春日丸と衝突せし朝郵汽船平壤丸(千五百噸)船長に對する海事審判は朝鮮海員審判所に於て審理中なるが四月九日開廷する筈

◎練習艦笠置乘組員

機關候補生練習艦笠置は目下大連碇泊中なるが二十五日同地出港鎭南浦を經て月末仁川入港の豫定にして同艦乘組員は艦長大佐櫻井眞淸氏副長廣瀨中佐以下將校二十六名候補生四十八名准士官下士卒四百十名にして乘組員一同は仁川入港中上陸京城見學の豫定なりと

◎通俗講演會盛況

京城商業會議所にては組合員中の食料品及び酒商兩組合の主催にて廿二日午後七時半より通俗講演會を同所樓上に開會金谷府尹、宮舘署長共に差支のため原出會頭本宿校長等の講演ありたるが來會者百五十餘名近來になき盛況にて十時半散會したり

◎京畿道の教員試驗

京畿道にては來る五月十六日より十八日迄各午前八時より私立學校教員の檢定試驗を行ふ可きにより受驗希望者は同月十日迄に其々所管の府郡を經由し願書を道廳に提出すべしと

◎京畿私立學校教員試驗 私立學校教員試驗は左記の通り施行す可し志願者は大正四年六月朝鮮總督府京畿道令第八號を參照し來る五月十日迄に所轄府郡を經由して願書に五十錢の收入印紙を貼附し京畿道私立學校教員試驗委員長に差出す可し

時日　五月十六日　午前八時より筆記試驗
　　　同月十八日　午前八時より口述試驗
場所　京畿道廳

平壤

▲四年度徵稅狀況 平安南道大正四年度の租稅收入調定額は六十三萬九千七百五十六圓なるが年度末迄に徵收したる金額は六十三萬六千六百圓にして其成績九割九分五厘に當り又驛屯土收入調定額は八萬三千二百三十二圓なるが年度末迄に徵收したる金額は八萬二千九百九十八圓にして其の成績九割九分七厘にして前年に比し出稅の成績良好の結果を示し居れりと ▲道長官披露宴 工藤道長官は廿三日午後七時より官民を大同館に招待し新任披露の宴を催うすべく二十日案內狀を發せり ▲鎭川金融組合新設 平安南道成川郡邑內に金融組合を設置すべく決定し目下組合設置の建物及び理事の任命に付道廳に於て詮議中なり ▲漁港豫定地と道路 平安南道龍岡郡赤松面穀新里は漁港として有望なりとて已に當局の豫定地となりをれるが本月十五日より鎭南浦永柔面二等道路の支線として測量を開始せり ▲大分縣視察團來壤 大分縣視察團は十九日夜十時入壤二十日早朝より戰跡及び市街を視察し午後一時より大同館に於ける同縣人及び有志の歡迎會に臨み午後三時鐵路安東縣に向へり視察團一行の迎送は盛にして殊に大同館に於ける午餐會は主客七十七名藤本大分縣人會長歡迎の辭を述べ田中大分縣內務部長一行を代表して謝辭を述べ次に祝盃を擧げて一行の健康を祝し席上茲生の揮毫等ありて何れも滿足の樣子なりき ▲浦辻副官の昇進 平壤第六十九聯隊副官陸軍歩兵大尉子爵浦辻彥六郎氏は今回少佐に昇進し二十日午後一時平壤發列車にて內地に歸還せり ▲將校送別會 平壤駐箚軍將校送別會は二十二日午後三時より笠碕俱樂部に於いて行はれたり當日の來賓は步兵第三十一旅團長少將伊藤祐武氏步兵第六十九聯隊長大佐村井多吉郎氏外六十八名にして會員は工藤長官外二百餘名なり當日俱樂部正門には萬歲と懸額せる大緣門を造り後方瑞氣山上に大國旗を建て無數の彩旗球燈を吊り廻らし模擬店を設け平壤の美妓總出にて接待し近來に無き盛況を極めたり

瑞興

▲畑中鐵鑛發見 黃海道瑞興郡龍坪面畑中に於いて鐵鑛露出せるを發見したるが分析の結果を聞くに鐵分百分の六十五含有せる趣にて京城某氏直に鑛區百五十萬坪を出願せる由因に同所は瑞興驛より同邑內に通ずる左側にして驛を距る六町餘の畑中とす ▲玉突禁止 近時京義線沙里院を中心として各郡邑內に流行せる玉突は其筋に於て風紀上害あるものと認め瑞興警察署に於ては已に四月二十五日限り認可を取消す旨申渡したる由

仁川

▲府稅負擔額 仁川府に於ける大正五年度府稅の各人別負擔の割合を見るに內地人は府稅總額三萬七千九百十八圓にして之を昨四年十二月末現在總戶數三千百二十四戶に割當つるときは一戶平均十二圓十三錢八厘鮮人は金一萬一千二百廿六圓にして總戶數四千百十五戶に對する一戶平均二圓七十二錢八厘外國人は金六千百五十七圓にして總戶數二百六十六戶に對する一戶平均二十三圓十四錢六厘に相當す而して內地人は別に學校組合費金二萬七千七百四十二圓を負擔するを以て其總負擔金六萬五千六百六十圓は一戶平均廿一圓一錢八厘の割合也

淸州

▲長官新任披露宴 二十日午後四時より忠北道廳構內にて官民有志外國人赤十字社愛國婦人會員等二百三十餘名を招待して盛大なる披露の立食宴を催したり定刻過ぎし三十分開會各員席に著くや柳長官は流暢なる日本語にて新任の挨拶をなし次で山田檢事は官廳職員を代表し道參事閔泳殷氏は鮮人側を代表し學校組合管理者は內地人側を代表して各挨拶を述べて宴に入り主客歡談の裡に散會したるは六時過なりき ▲柳長官管內巡閱 柳忠北道長官は二十一日三宅、趙の兩道書記を從へ陰城、槐山、忠州、丹陽、堤川の各郡巡閱のため忠北自動車にて出發したり因に歸任期は本月末日頃ならん ▲中川軍醫の後任 淸州憲兵隊醫務室附の中川軍醫は今回陸軍一等軍醫に進級と同時に高知衞戍病院附を命ぜられたるは既報の通りなるが氏の後任者は步兵第三十聯隊附より今回憲兵隊司令部附を命ぜられたる陸軍三等軍醫內山庄太郎氏著任す

るならんと ▲道廳員異動 忠北第二部稅務主任女屋道書記は二十一日永同郡財務主任に轉勤を命ぜられ後任として淸州郡財務主任書記近藤孫四郎就任したり因に女屋書記は二十五日頃出發赴任の筈なりと

忠州

▲岡田技師來忠 專賣課忠州出張所長岡田技師は黃色煙草耕作組合總會及び獎勵金授與式擧行の爲め十八日來忠したるが二十一日耕作組合總會を擧行すべし ▲獎勵金授與式 年產額十五萬貫の忠州黃色煙草模範耕作人表彰式は來る二十二日專賣課忠州出張所にて擧行の筈なるが柳道長官も臨席すべし當日は式後內鮮官民有志四百餘名を招待し園遊會の催しあり內地藝妓手踊朝鮮芝居等の餘興もありて盛會を極むべし ▲褒賞傳達式 昨年九月開催の始政五年共進會に於て審査の結果褒賞を授與されたる忠州郡邑內面長鄭雲鎬以下受賞者に對し來る二十三日忠州郡廳に於て褒賞傳達式を擧行すべし

大邱

▲軍旗授與式 第四十旅團步兵第八十聯隊の軍旗は二十一日午前一時卅七分著列車にて到著安原聯隊長其他將校全部大邱驛に奉迎し旗手山下少尉捧持し聯隊本部に入り來る廿五日井口軍司令官來邱當日午前九時より東門練兵場にて謹嚴に軍旗授與式を擧行する筈 ▲李全北長官出發 今回全北道長官に轉任を命ぜられたる前慶北長官李軫鎬氏は廿日午後一時二十五分大邱驛發北行列車にて出發停車場には黑川檢事長、松木慈惠醫院長を始め各學校生徒、府協議員其他有志二百餘名の見送りありたり ▲吉村第二部長上京 吉村慶北第二部長は財務事務打合の爲め二十日の急行にて上京したり ▲邱銀安東支店開店 既報の如く大邱銀行は愈二十二日より慶北安東に支店を開設する事に決し主任者は星漢基氏にして同夜安東舘にて開店披露をなす筈 ▲聯隊設置祝賀會 大邱に第八十聯隊設置され廿五日午前九時より練兵場に於て聯隊旗授與式擧行に付大邱府官民は此一大盛事を祝賀すべく廿二日大邱府廳樓上に於て協議會を開き協議の結果廿五日午後一時より達城公園にて一大祝賀會を開き當夜は盛なる提灯行列をなす事に決定せり因みに會費一圓有志者は大邱府廳及び商業會議所へ申込まる可しと ▲竹崎府尹上京 竹崎大邱府尹は事務打合の爲め二十二日朝急行にて京城に向け出發す ▲朴高靈郡守出發 新任高靈郡守朴光烈氏は二十二日任地へ出發せり ▲當松道技手歸廳 獸疫豫防の爲め善山地方へ出張中の當松慶北道技手は二十二日歸廳 ▲穀物檢査所員異動 慶北穀物改良組合大邱檢査所員奧野德兵衞氏は慶山に、石田百一氏(慶山)は淸道に、八田渭市郎氏(淸道)は大邱に各々十九日附を以て轉勤を命ぜらる ▲隱岐普通學校長 多年教育界に貢獻したる慶北永州普通學校長隱岐浩造氏は今回教育界より退く事となれりと

釜山

▲學校組合委員會 釜山學校組合戶別割調査委員會は十八日午後一時より開會し委員長を始め各委員出席したるが香椎委員長より先づ査定の大體方針を指示し各等級につき一々詳細なる調査をなし午後六時散會したるが十九日午後一時よりも引續き開會協議せり ▲新商業會議所の定款 新商業會議所の定款は既報の如く總督府にて審理の結果不備なる點ありとて本道長官の手を經て却下されたるにつき更に發起人會を開く可しと ▲海藻組合の役員任命 釜山海藻水產組合役員の選擧は大原同組合長の指命に依る事となり居りしが今回理事に中村俊松、岡昌督、監事に岩崎新平、秋乃有の四氏を推選し其他日鮮人四名宛を評議員に任命せり ▲輕鐵の代償金 朝鮮輕便鐵道會社は來る二十九日東京に於て創立總會を開く可しと而して當日附議の議案中瓦斯會社に對する該輕鐵線の權利移動に關する三萬圓代金支拂の件は瓦電に於ては決定し居る事なれば創立總會にて承認の上は直に實行すべしと ▲龍頭山神社例祭 龍頭山神社にては來る廿一日午後五時より宵祭、廿二日午前十時より例祭を執行する由 ▲四月上半月檢査成績 慶南米穀改良組合四月上半月檢査米穀は玄米一萬五千五十五叺、大豆一千七百六十九叺合計一萬六千八百卅四叺の少數なり而して之れを前月の同期に比すれば大差なく玄米は僅かに三十一叺の減大豆は六百五十七叺の增を示せり斯く玄米の搬出少數なるは價格の昇騰なき爲め一般農家は時期待ちの爲め貯藏みたるによるものにして大豆の多少增加せるは北鮮の釜山に搬出するもの有るを以てなり今後は米價の如何により增減を生ずるものに外ならざるなり而して檢査數は玄米日本種七、九二一叺、在來種一五、〇五五叺、大豆一六、八二四叺なり ▲戶別割調査會 釜山學校組合は十八日以來每日午後一時より戶別割調査會を府廳樓上に開き之が精査中なりしが廿日午後全部の終了を告げたれば來る廿四日頭本會議を開き調査委員會の結果を報告すべしと ▲香椎氏の晩餐會 朝鮮瓦電會社專務香椎源太郎氏は廿日正午同本店に於て朝鮮輕鐵創立委員長半田口氏、佐藤氏を陪賓に大池氏を副賓となし晩餐會を催したり

人事消息

▲宮澤磯夫氏(黃海道警務部長) 入京中の處二十三日朝退京
▲和田維四郎氏(工學博士) 入京中の處二十三日朝鎭南浦へ
▲末兼暉氏(子爵) 二十二日午後水原より歸京
▲白井哲夫氏(長崎縣代議士) 二十二日午後內地より入京京城ホテルへ
▲入江海平氏(總督府課長) 二十四日午前八時三十分南大門發列車にて出發 大阪及び東京に出張す旅行期間は約三十日なり
▲本田幸介氏(水原模範場長) 入京中の處二十二日夜歸任

法人登記公告

永登浦地方金融組合ハ大正四年度末日ノ現在ニ依リ出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額ヲ變更ス 出資總口數參百貳拾八口 拂込ミタル出資總額金六[illegible]
右大正五年四月貳拾貳日登記
京城地方法院永登浦出張所

法人及商業登記公告

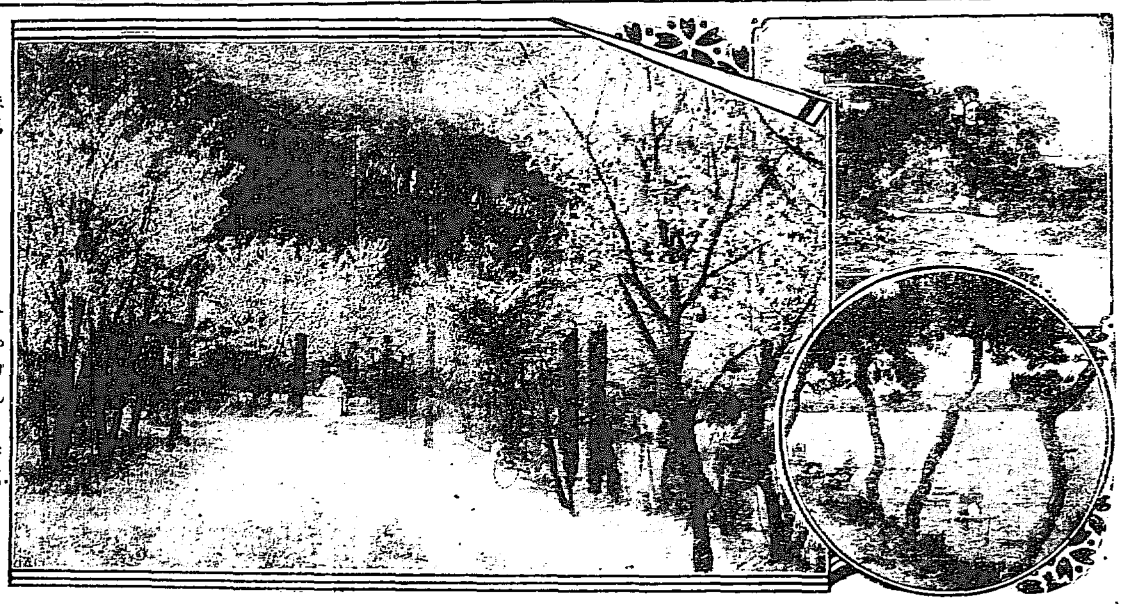
株式會社第一銀行ハ大正五年四月拾七日京都府紀伊郡伏見町字中油掛町[illegible]番地ノ支店ヲ同町字備後七百六拾[illegible]番地ニ移轉シタリ
[illegible]京城府本町四丁目百參拾番地 [illegible]文房具[illegible] 營業所 京城府本町四丁目百參拾番地
漣川地方金融組合ノ出資ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス 但大正四年度末日現在 出資口數貳百五拾口 拂込ミタル出資ノ總額金參百八拾七圓
右大正五年四月貳拾壹日登記
京城地方法院

一、石炭八百五拾噸
右購買ス詳細ハ四月廿四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

陸海軍御指定品 專賣特許
久美滴
門司市內濱町二丁目 日本安全油株式會社出張所 電話五一四
指定販賣店 京城 [illegible]商店 咸興 長谷川商店 [illegible] 田中商店 大邱 甚川商店 甲山 寺崎商店 義州 中原商店 [illegible] 駒田商店 [illegible] 芳村商店 北青 宮本商店 光州 鹽屋商店 [illegible] 澤田商店 端川 早尻商店

混合ダリヤ球根
カクタス、ピオニー其他各種永年當社培養品にて札落混合となりたるもの下記破格の安價にて御需に應申候
混合球一球金十錢十球以上二割引
外に郵税送料一球十錢[illegible]
(御注文は前金に限る郵券代用は一割増)
當カタログ郵券六錢封入御申込次第送呈
橫濱市中村町二十一番地 植木株式會社 內國部 振替東京三九〇番

新刊書御案內
書名 著者 正價
滿洲寫眞帖 大阪屋號 一、〇〇
增補訂正二千五年史 竹越與三郎 特二、〇〇
大正政局史論 德富猪一郎 二、〇〇
歐洲戰局の將來 [illegible] 一、五〇
全國優良靑年團の事績 石田傳吉 五、〇〇
新獨逸 尾原亮太郎 二、〇〇
哲學概論 宮本和吉 一、二〇
客引策と賣出法 淸水正巳 五〇
不言不語 尾崎德太郎 五〇
[illegible]心中 [illegible] 四〇
現代戀歌評釋 尾山篤二郎 六五
想華及小品 姉崎嘲風 一、五〇
脚本傑作集卷一 [illegible] 一、〇〇
十人十色名物男 大町桂月 一、〇〇
蕪村句集遺稿講義 高濱虛子 一、四〇
[illegible]新美辭學 島村瀧太郎 一、〇〇
音引詳註漢和新辭典 特 一、九〇
朝鮮諸官廳受驗者必携作文軌範 [illegible] 四〇
自動船 生島、加藤、山本共著 三、〇〇
近世土木工學要覽 [illegible] 二、五〇
朝鮮衞生法規類集 北村鳴海 八〇
京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二五七三番



□水原名所 (右上)訪花隨柳亭(右下)觀萬提より見たる西湖(左)華虹門前の櫻

●綻び初めた水原の櫻
街も花、野も花、山も花

雨に古りたる櫻門『美しき櫻の隧道』躑躅は今が眞盛り『千六百本の櫻』南大門から水原まで

水原の櫻は茲二三日の間に綻びる、水清き西湖の辭、總督府勸業模範場の櫻は最早恥かし相に笑ひ初めたのもある、また停車場附近から

◇水原城内の櫻も
ぽつ〳〵咲き出して花の都

水原の春は昨今將に異ツ盛りならんとして居る、街も野も山も花、花、花!!水原の花を訪ねる人は茲數日の間を見逃してはならぬ むかし〳〵今から凡そ百二十年以前、正祖大王が水原に遷都せんとして大工事を起した水原の城は驛から約十餘町、京城の南大門よりも壯大な八達門をくゞるともう其處此處の垣根から櫻がのぞく連翹がのぞく殆んど『柳絮散る時花滿城』の感じがする、それに西方翠巒滴る許りの八達山の麓には從來行宮の跡であつた

◇華寧殿の建物が
見えるが其正面古雅な華寧殿の

櫻門を入れば繪具皿をこぼしたやうな杏柳の春景色で其の黄色を帶びた柳の若々しい嫩葉と杏の花の桃色とは水原の春の魁を爲してゐる、更に門前の警察署には築を廻した土塀の上からは無數の櫻がのぞきこみもうパツと蕾を破つたものも尠なくない、此處の櫻は明治三十八九年頃から植ゑたもので割合に家の庭園のみが成育して居るのは手入と保護が行き屆いた爲めであらう、更に警察署について裏手公立普通學校並に郡衙前の櫻はこれも

◇昨今已に綻ろび
初めて茲二三日の間には滿開の氣配

此のあたりの花が一時に咲き初めた時分は恰度櫻花の隧道となります……とは普通學校長の話である、次に郡衙の隣には華寧殿風化堂の建物があるが庭の老松と眞い連翹と千株にあまる芍藥の新芽とはこれも抑々の觀物である、殊に背後の山には昨今躑躅の花の滿開で此のあたり老松の翠と古びたる建物と煙る柳と桃色の躑躅とは殆んど繪にも描かまほしき眺めである、水原はまた雨に古りたる城壁を廻るの興味がある、城の北方京城街道には八達門と雄を競ふ長安門の聳ゆるあり

◇崩れたる飽樓の
傍に躑の華花を見せすなど

何等の興趣であらう!!また華川の清流を城内に延いた櫻門には七つの穹窿形の石門を設けたる華虹門あり訪花隨柳亭あり脚下に清き龍池の眺めある青い麥畑、柳の若葉、殆んど心ゆくばかりの懷かしい春に醉ふ事が能きる、尤も此所は水原の街の一大公園とする計畫で櫻の花も千六百本植ゑてあり昨今花の蕾も開きかけたが大きく見れば水原の城壁一里半の間に圍まれた城の内外一として公園の資格を備へざるは無い水原の櫻はまた

◇勸業模範場附近
が最も美しい、模範場は驛から西方約十五町、廣く大きな西湖の辭りに抗眉亭の風致を貸しながら丘陵に添うた建物を訪ぬれば右も左も花ばかり遙かに停車場から望んでも此のあたり一帶が花の雲に見えるとの事、兎に角水原の櫻花滿開は茲三四日の間である、南大門から汽車に乘れば朝の八時半の急行で九時卅七分に著く、京釜線だけに朝夕の汽車便は非常に便利である

□世の所謂 成金ではない
中村精七郎氏の成功 皆是粒々辛苦の結晶

歐洲戰亂勃發以來我國の經濟界は幾多好惡の影響を蒙りしが鑛山、製鐵、海運業者等は何れも戰爭の爲めに多大の利益を獲て内地に於ては幾多の鐵成金、船成金が出來上つた而し朝鮮では比較的戰亂の爲に成効したと云ふ程の者は尠い。しかし其の尠い内に

斬然 卓越して内地の成金連と肩を並べる程の大成功を贏ち得た者がある鎭南浦の中村精七郎氏は實に其の人である彼は單に運命の寵兒として僥倖に巨萬の富を獲得した世の所謂成金者流の類では無くて其の巍然として峙立して居る成功の城廓は其の礎の一つからして彼が粒々辛苦の結晶であつて彼の今日迄の經歷は吾々青年の模範とすべき努力と讃賞すべき

美談 とで織り成されて居る。彼の祖父は舊平戶の藩士であつて彼の祖父は藩主松浦家とは深い姻戚關係が有つた位であるから彼は同藩中でも身分ある士であつたが漸く物心付く八九才の折り恰度維新革正の時であつて彼の家父は此の際四方に奔走して殆ど家產を傾け盡した彼等の温かなる夢は俄に呼び醒まされた性來穎敏なる

彼は 毅然として叫んだ此れからの天下は金だ從來の如うな狹い平戶を天下にして居つた時代とは異つて來た日本は最早世界の果てまで働き廻る事の出來る世の中に成つたと彼は茲に強く深い自覺を持つた此の時彼は僅かに十二歲の少年であつた於兒の山縣縫三郎が北海道に居るのを便りにして遂に飄然と家出をして北海道に渡つた而して彼は大小を手挾んで袴を穿いて育てられた誇りを捨てゝ或る商家に丁稚奉公をする事となつた勝氣なる彼は

小供 ながらも其働きに於ては決して大人にも負けなかつたよく云ふ處の一を聞て十を知ると云ふ言葉は彼によく當箝つた敏捷の聲であつた其の一例を擧げて見ると彼は丁稚奉公をして以來夜が明けてから床を起出た事は一度もなかつた其の上

終日 追ひ使はれた末夜になると風呂場で二十何人かの人々が入浴する釜焚をした上に一人々々の背中を洗ふ事に成つて居るので彼は最後に入浴する時にはもう夜も更けて終日の勞れと湯の温さとで我知らず眠つて湯槽の中で夜を明した事も有つたさうだ(つゞく)

●宮中御能御催は五月初旬

御大典御祝宴に付宮中へ新に設けられし御能舞臺は華族會館へ下賜となり同館内に移されて保管さるゝこととなる筈であるが其以前今一度御能を催さるゝ由で御番組は未定なるも御日取りは多分五月の初めならんといふことである(東京)

●東京大相撲の給金問題
分離巡業は何うするか

五月場所大相撲は愈々二十八日初日と決定して目下巡業中の各組力士も七日迄には全部歸京の豫定である今度の

▲大場所開場に 際して多少の紛紜は免れまいと評判されるのは例の分離巡業の問題であるが是は大勢が既に分離と決して居る次第故早く解決が付くであらう。最も茲に就て一つ新たなる問題が持上りさうな形勢がある其れは第一組の太刀山西の海鳳一行と第二組の大錦一行とが曩に大阪に於て京阪合併相撲を催した當時勝越しのあつた力士は大場所開催の割合を以て今場所に給金直しを決行し此れに加はらぬ第三組伊勢の濱玉手山一行第四組柏戸八甲山一行第五組小錦國見川一行の力士に對しては今度の五月場所の番組に於て勝越しに給金を二倍にすると云ふ事に決した第三四五組の力士連は是れに對して大に不平を鳴らして居る其理由は元來東京力士と大阪力士と

▲强味の程度の 違ふことは過般の合併相撲に依つても明かな事實で合併で給金を直すことは容易であるが此方同士の大場所で給金を直すのは却々容易なことではない其れを同樣に取扱ふのは甚だ不公平の處置であるから[illegible]

●救助網に衝突

二十二日午後十時半頃京城電氣株式會社の七十八號電車が南大門方面より鐘路に向け朝鮮銀行附近を進行中年齡三十歲位の乞食體の鮮人男一名が救助網に衝突して跳ね飛ばされ一時人事不省に陷りたる模樣にて大地に横臥して身動きもせざるより運轉手は大に驚き直ちに停車して引起さんとしたるに件の男は俄かに跳ね起きて一目散に逃走したり

●旋風に捲込まる

黃海道安岳郡安谷面月下里船夫林昌默(五〇)は十三日午後一時平南龍岡郡多美面大安里殊英浦より三名の便乘者を乘せて安岳郡に向け出帆したるが其の途中旋風起り船は忽ち其の中心に捲き込まれて轉覆し船頭昌默及び便乘者一名は溺死し一名だけ辛うじて船體に取り縋り居たるを通りかゝりたる船に救はれたり

●馬賊三名を斬る

東淸鐵道沿線陶賴昭の質商兼賣藥商永田武右衛門(三〇)方へ十六日午後九時頃數名の馬賊侵入し一賊は金櫃に於て武右衛門の頭部を毆打し數個所に重傷を負はせ他の一賊は豚切庖刀にて武右衛門の腹部及び頭部を斬付け雇支那人二名を慘殺し室內を搜索して金品數多强奪し何れともなく逃走した(大連)

●連絡船の延著

二十二日釜山港の連絡船高麗丸及び壹岐丸は下關六連島附近にて濃霧の爲め假泊し定時下關に入港せざりき(下關特電)

●愛輪家の花見遠乘

京城紳士愛輪家連は廿五日の未明から牛耳洞の花見に遠乘を催し花下で朝餐を共にし八時頃迄に京城に引返す段取にて今回は成る可く京城全體の愛輪紳士連を網羅し之を機會に京城双輪會を組織して時々遠乘を試み郊外の探撿及び愛輪家相互の社交機關とする計畫にて廿五日の牛耳洞行參加希望者は同日午前五時京城日報社前に參集牛耳洞に向ふ筈なるが希望者を[illegible]豫め京城日報社編輯局杉本記者宛申込まれたしと

●阿片の密輸入

大阪南區上本町二丁目支那人陳春蘭方にて同居人の陳桂蓮(廿一)並に鄭國財(三十)の兩人は阿片を吸飮しゐたるを所轄署に探知され[illegible]同人等は本年二月頃より[illegible]阿片を密輸入し之を[illegible]なしゐたる嫌疑あり引續き取調中(大阪電話)

●姙婦を威嚇す

京城[illegible]は十七日午後六時頃同[illegible]金東浩方に於て同人の妻に對し自分の[illegible]を移轉立退かしむる爲め[illegible]を買收したるは奇怪なり依て姙娠中の同女及び夫東浩の兩名を殺害すべしと脅迫し居れる所を巡回中の鍾路署の警官に檢擧されて拘留處分となりたり

●賽錢から竊取

京城武[illegible]町[illegible]慶權妻徐姓女(二〇)は附近なる同町[illegible]木某方の掃除手傳中三月二十三日午前十時頃同家々人の隙を窺ひ賽錢筒の抽斗より金二十圓を竊取し素知らぬ顔にて米代其他に消費し猶四月十五日午前十時頃にも同家より金一圓を竊取したること發覺し本町署に引致されたり

灯ともごろ

ツイ此間大塊翁の手許に一枚の葉書が飛び込んだ出し主は筑紫太郎で句に曰く『花心ツイ浮か〳〵と虎の野に』翁徐ろに首肯つゝ『虎食ひが花に後れて來るとさ』とやつて微笑一番▲預て筑紫太郎とは何人か、察する所大きな男れば隱し切れず、近々何處にか其の現はれ來る時も近かるべし、今の處まだお預りとは益々以て何人か聞きたいものだ▲東拓理事の一人君三三日以前何時もの如く早朝獎忠壇公園を散歩しプラリ〳〵と龍山に向ふ途中梨泰院の居牛場近くに出ると▲二頭の牛の今や居所に歩を運ぶ樣の春景色にふさはしき眺めであつたが▲やがて黒牡丹先生何に感ずつてか後なる牡牛は忽如猛然として前なる牝牛に向つて突進し牛追ひを手古摺らしての大混亂▲青色四塞、桃李心あらず何とや云はん、牛心亦乎かならずと云ふ處▲理事大に同情を表して曰く『花の朝居所ずれの牛勇みけり』之れを聞く人々目下理事の近況を知る者は更らに同情を深からしめた相な▲意外春雨霏々獨居卓に寄つて庭前の櫻花を眺めて淺酌低唱の時更らに改めて一句を承はんたきもの也だと誰やらの話

急告
ダイヤの玉『但し指輪』に入れありし物遺失致候間御拾得の御方は御屆け被下度候相當謝禮可仕候
京城旭町二丁目 電話四七九番 佐藤

製材機械原動機
其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目電話一〇四番 中根商會

歡迎新設師團
兵用圖書出版
陸軍帳簿類
帳簿用紙
文房具消耗品
寫眞器具一式
演習射擊用品
擊劍銃槍道具
陸地測量部發行 朝鮮地圖
五萬分一地圖既刊五百五十六枚
定價 一枚 七錢五厘
送料 五枚迄 二錢
朝鮮龍山漢江通六番地 小林又七朝鮮出張店 電話五二〇・振替五一〇

東拓より各種果樹苗木販賣 平安攻玉園
弊園は多年の經驗を以て育成したる各種の苗木數は百萬本にも上り其の種類の正確なる良苗なるは他に比類なかるべし
外に牛乳搾乳器、剪定鋏、噴霧器、製造器等の一手販賣を爲し御希望の方に提供す
朝鮮平壤停車場通 電話二六四番 振替口座京城一五四五番

謹 近火御見舞 平壤 七星館

平壤 壽樓

日韓書房
新版吉報
乙竹岩造著 最近教育の進步 定價二圓十錢 送料十二錢
宇野哲人著 四書講義 大學 定價一圓二十錢 送料十錢
鈴木大拙著 禪の立場から 定價八十錢 送料八錢
大内青巒著 教育勅語要解 定價一圓 送料十錢
小野美智子著 姉と妹の手紙 定價四十五錢 送料六錢
京城本町二丁目 朝鮮振替口座一四五二・電話二二七番

金牌受領
ポケット入 氷砂糖 定價 大拾錢 小五錢
製造元 大阪市住吉橋北詰(電話二一〇〇四番) 三木治助商店
特約一手販賣 大阪淡路町二丁目 小林三玉堂
販賣店 大邱 甚川商店

出店隨意
◎每夜開催百貨大安賣
●どなたでも露店申込隨意、金のもうけ次第
太平通大夜市
多田不動產信託所內
太平通二 太平通大夜市事務所 電話二二二番

タングステン經營者に告ぐ
六十五度以上の「タングステン」
高價買入申候 御希望に依り直接輸移出の仲介取扱可致候
京城本町二丁目一六(電話二二〇番)
日東商會 吉邑祥一

金物電氣商 京城龍山漢江通八番地(佐久良座横) 巴商行 樋口米太郎 電話四二四番
京城電氣株式會社製品 コールター一手販賣(石材販賣) 巴商行 鑄物工場 京城黃金町三丁目(永樂町東入) 行持山
大阪久保田鐵工所代理 東京神奈川電氣株式會社代理 電氣部 電話京城一四二五番

●片つ端から橫領 廣島縣尾ノ道市吉和村生れ當時京城[illegible]を手始めに下旬には得意先なる舟類を騙取したる等數々の惡事露顯し[illegible]除きたる上犯行嫌疑の支那人一名を[illegible]處刑を受たるが十七日にも[illegible]咽喉を切り居たるが去る日の朝家人[illegible]咽喉を突き苦[illegible]

天氣 雨後曇り 四月廿四日

…年十二月…ければ居る中本年一月十四日…なる黄金町四丁目飲食店大川屋より受取るべき賣掛代金七圓を胡麻化したて…衣類を横領し或は主家の用品なりと詐稱して十數回に涉り本町の某酒店より酒…

…東方鐵道線路上に於て五六貫匁の石の形の石三個を載せ置きありしを四方同所の憲兵が發見し直ちに之を取…

…十餘名の賭博犯人を逮捕し平壤…法院檢事局に送致し各被告…

●東行先生　逝いて五十年

▲毛利公主催の記念祭　▲故人を偲ぶ日記手翰

毛利公爵が主催となり來る五月十四日東京九段靖國神社で維新の俊傑東行高杉晉作先生の五十年記念祭を擧げ當日は遊就館附屬圖書館に故人の

■遺墨遺著を　陳列して一般の展覽に供し又た日記手翰等を印刷に附して配布することを企てつゝあるが山縣公、寺内伯、長谷川元帥其他

■防長出身の　諸名士は熱心に之を援け目下切りに準備を急ぎつゝありて今日まで高杉家の筐底深く收められて世間に公表されなかつた日記及び手翰の中には

■故人を偲ぶ　に最も力のある紀行文が發見された例へば故人が藩の兵制の改革を痛切に感じたのは支那を視察してからで當時恰も長髮賊の亂があり英國を始め普佛の駐屯軍の秩序整然たる働きぶりを見た故人は直ちに

■日本軍隊の　改革を思ひ立つたと日記に書いてある、又た故人が佐久間象山に逢ひに行つた時の模樣は今日まで詳しく世間に知られて居なかつたが今度出版される日記と手翰の中には

■當時の模樣　が委しく記され、尚ほ東行先生が常に深く英國行きの宿志を抱き幾度か企てゝ國内の事情の爲めに果さず伊藤、井上等の洋行も之が動機となつて實行されたなど今日まで世人の餘り知られぬ事で

■日記の公表　により故人の識見を窺ふべき事が澤山ある、記念出版の事業に關係した人々の談を聞くと先生は頗る躁急で奇矯な所があり自分でも此の缺點を知り松陰先生の訓話や父の敎訓に基いて之を改めんものと

■頗ぶる苦心　した跡がある奇行としては長崎へ出た時に英人の家で花ガラス製の珍らしい器具を見て欲しがり其の英人から西洋に無い物となら交換しようと言はれ新しい越中褌を奉書紙に包んで行つて交換した等の事がある

日曜漫畫　お花見もの語り　めちや吉畫

（１）今度の日曜に牛耳洞に往うと内々相談がのつた處、中憎くと大將の宅で御饗會を催すから諸君來玉へとの御言に、敬遠主義を執つて居た面々大に恐縮して思ひ／＼に智惠を絞つた（２）Ｅ君は親類に不幸がありまして……と、大粒の涙を落し、Ａ先生は古い腹痛を持ち出して此頃少し腹を痛めてなんかんと御免蒙り、〇君は郷里の梅干の種を含んで齒が痛みますからと、マンマと敬遠してしまつた、（３）出來大出來浮いた／＼さ一族十三人牛耳洞に押懸け、ヤツヤツヤツさ大陽氣、一方支店長閣下は折角臘君を一日遊ぜて慰めてやらうと思つたのに、一人も出席する者がないので御機嫌曾ばお流れ、獨りで花見もつまらないからと牛耳洞へ出かけてみると之れは又大吃驚親類に不幸の有つたＥ君も、腹を痛らした先生も、齒痛の〇君も有頂天で踊り廻つて居やうとは。（４）その翌日、昨日の元氣に引換へて悄々と出勤してみると、案の定『日く良役出勤に不及』

●惡店員の處刑

東京神田區仲猿樂町生れ元京城本町四丁目石村支店店員清水信三郎（二八）が主家の賣掛代金五十八圓三十二錢を取立て、之を費消し尚其の後主人より集金事務を中止されたるにも拘らず九十八圓九十四錢を横領消費し其の他主家を欺き酒醤油等價格二十圓餘を盜み出したる一件は京城地方法院にて懲役一年六箇月に處刑さる

●自轉車泥棒

京城貞洞金要溪（十九）は四月十日午後四時頃淸進洞朴宇植方門前にありたる朴熙昌所有の自轉車一臺（二十五圓）を窃取し鍾路署に逮擧されたり

園藝　ダリヤの作方（1）

□ダリヤは何れの園藝植物よりも栽培方法が簡單で而も霜深き晩秋まで其艶麗なる花を賞で得られるから園藝界の寵兒たるも無理は無い

□ダリヤの種類は大約左の七種に區別される

（一）ジョー（二）カクタス（三）シングル（四）ポンく（五）ペオニノ（六）デコラチーブ（七）コラレット

□栽培するには輕重肥瘠どんな土地でも構はず容易に生育する、そして此ダリヤほど手入と甲斐の顯著な植物は數少いであらうが特に排水の良好な畑を選ぶ事は第一必要條件である

演藝

▲浪花館〇〇　三日目語物　女義太夫竹本團昇一行は非常の好評にて連夜滿員の盛況なるが二十三日の三日目の語物は御所櫻、良辨、壷坂、伊達若一の谷陣屋（團昇）等なり

▲長春組見　朝鮮瓦斯電氣會社並にセル時計の新人連中は浪花館に出演中の長春の淨瑠璃に共鳴し同人を應援する意味にて二十三日夜同志を糾合して組見を爲す筈なり

▲壽座〇〇　新派改正親劇一行にて開演中

▲御成座〇〇　新派中村榮一行にて二十三日の替りは一番目女侠客お蝶四幕、二番目悲劇夫征伐三場なり

たいどころ　その日／＼

面白あへ　白胡麻を煎り擂鉢にて擂り豆腐を布巾に包み押をなしたものを加へ尚これに白味噌を加へ、砂糖をいれて煮出しなり酒なりでのばし醬へいれてよくすり一方に蒟蒻を茹で蝸より剝み、酒煮出し砂糖及び醤油にて、味をつけ。獨活は厚めの短冊に截り同じく前の汁にて味をつけ椎茸は石付をのぞき細びいて茹で前の汁にて甘味をつけ、この三種を前にまぜ合せしものゝ中へいれよくまぜ合し器へ盛つて樹るめ

演藝案内

御成座　本町　電話一九一
廿二回目藝題　一番目　女侠客お蝶　四場　二番目　悲劇夫征伐　三場　三番目　喜劇　三場
[illegible]

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七
[illegible]　泰西軍事活悲劇　愛國の血　全四卷　[illegible]

大正館　電話八七三番
●昨夜滿員御禮　●うき世以上の新派大悲劇　かわかぬ袖　全三卷　●目玉松之助得意の大活躍　樋口武勇傳　全三卷

壽座　本町八丁目　電話五七八
▲改正義團一行　[illegible]　藝題「潮劇」全部

浪花館　明治町　電話一六〇番
◎三日目（二十三日）語物　▲太功記十段目　▲御所櫻三段目　▲白石噺七ッ目揚屋の段　▲玉藻前三段目道春館の段　▲花六（長春）▲廿三所花の山壺阪寺の段　▲一の谷嫩軍記熊谷陣屋の段（竹本團昇）　[illegible]

詩館　電話一〇五〇
お客様方の御所望に依り二十三日迄日延致し[illegible]

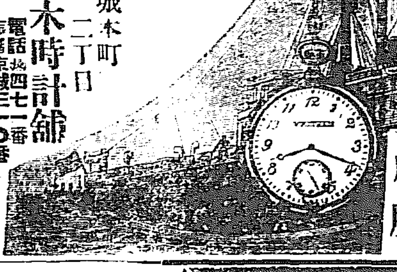
大正館　櫻井町　電話八七三
四月二十一日より特別大寫眞提供　[illegible]　◎泰西活劇　金鎖　全二卷　▲新派大悲劇　かわかぬ袖　全三卷　●舊劇　樋口武勇傳　全三卷七十五場　[illegible]

黃金館
初日滿員御禮
◎泰西軍事大活悲劇　愛國の血
◎侠客　江戸金看板甚九郎
◎義士銘々傳　赤垣源藏　德利の別れ　（兒島旭洲琵琶彈奏）

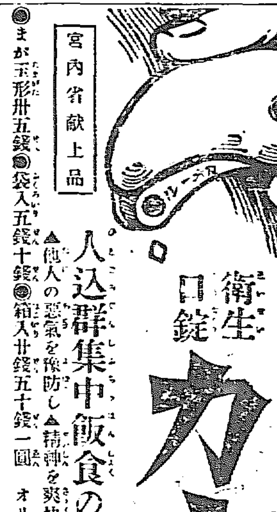
家傳靈藥　ぢの藥
●イボ痔●裂痔　●痔出血●痒痔　●脱肛●痔瘻
●本病は最も可怖重患の一なるに不拘其初期に於ては左程の苦痛を感ぜざるが故に男女不係放任せらるゝが一般の常習なりと雖も其結果は甚だ惧るべし斯病に變疾して内外痔核（俗にイボ痔）痔出血（はしりぢ）脱肛（でぢ）痔瘻（あなぢ）ガツチヤキ等に陷り自然胃腸を害し腸を刺戟し心臟●肋膜甚だ敷又は萬事倦怠或は記憶力減退して身體非常に衰弱を來し不知不識の內致命の原因となり天與の授命を早からしむるもの往々有り決して一日たりとも等閑に放棄し置く病にあらざるなり而して本病の治療法としては未だ完全なる療法の發見を聞かず然るに本劑即ち●痔退膏●痔退座藥なるものは我祖先よりの家傳藥にして痔疾一切の病症に最も可怖痔出血●脱肛●痔瘻ガツチヤキ●が現狀の儘にて何等の苦痛もなく自宅に居ながら自分自ら使用し得て治癒の目的を達し得る事は現に完成者小松彦一郎が痔瘻にて肛門周圍に瘻孔を穿ち居りし物が本劑を以て全治し、而己ならず全國患者諸氏が使用の上効顯眞確なる事は一般に立證せらるゝ處の不思議の家傳靈妙藥なり本病にて百方手を盡せども全治せず悲觀煩悶し居らるゝ方は一日も早く本劑を使用して愉快に活動し天與の壽を保たれたし尚本病に付詳細を知らんと欲する方はハガキにて申込有れば濟世のため自分が實驗を且つ全國同病者諸氏の全治又は有効卓越たる事を認識せられし事を現に立證せられし病原理由自宅治療法の詳細なる說明書を無代にて進呈す
東京京橋區…町壹
◎本舖　小松盛林堂　振替東京七壹貳參番

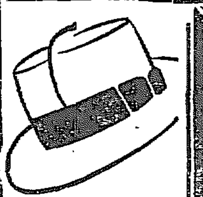
家傳靈藥　菊水散
●りん病●しよかち藥
●冷酒にて服用して治癒の効を奏する不思議の妙藥也●ハガキで申込者は病原理由自宅治療法說明書進呈す
●東京京橋區…町壹　小松盛林堂

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸　禁煙液
ごんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券貳錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舖　大阪市新南通二　森田商店
レンガーミン會社　大邱支部
分店所在（大邱、慶州、安東　金泉、大田、公州）


時計眼鏡　貴金屬製作所
京城本町二丁目　村木時計舖　電話四七一番　振替京城三〇番

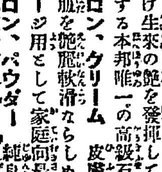
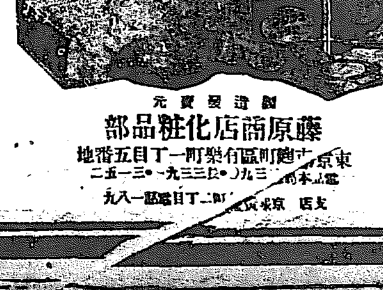
蘇峰德富猪一郎著　定價金貳圓　郵稅十二錢
大正政局史論
菊版四百卅頁　總クロース
大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱横一世の耳目を壓倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨壁也
大販賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部


宮內省獻上品
衛生口錠　カオール
春の外出には必ず
人込群集中飯食の前後等最も必要
▲他人の惡氣を豫防し▲精神を爽快に▲元氣を盛ならしむ
●まが玉形卅五錢●袋入五錢十錢●箱入廿錢五十錢一圓
オリヂナル本舖　東京水天宮前　安藤井筒堂


夏帽子新荷揃卸
京城本町壹丁目二十一番（電話八二番）
帽子卸商　淀屋商店

世界の人氣は更に愈々

煉香油に集るポマードに
本舖　平尾贊平商店　平尾銃也商店

エグロン化粧品
發賣披露
高級家庭用

エグロン、石鹼　壹個金貳拾五錢　參個入金七拾錢
マツサージ美顏料　エグロン、クリーム　壹個金六拾五錢　小形壹個金拾貳錢
皮膚の保護用　エグロン、パウダー　壹罐金參拾五錢
●エグロン、石鹼　垢及脂を完全に除き、皮膚の發育を助け生來の艶を發揮して益〻豐麗ならしめ、色を白くする本邦唯一の高級石鹼なり。
●エグロン、クリーム　皮膚の滋養食物にして組織を更め肌を艶麗軟滑ならしめ白粉下、髯剃後用又はマツサージ用として家庭向最良の化粧品なり。
●エグロン、パウダー　純良無比の皮膚衛生品にして其質外國製を凌駕し、皮膚病豫防品中最良の粉末也。

製造發賣元　藤原商店化粧品部
東京市麴町區有樂町一丁目五番地

宮本武藏

第十七回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

明易きは夏の夜の慣ひ、早くも東が白明んで來る、翌朝宮本關口の兩人は關を越して三島へ下り、相撲屋文助といふ旅籠屋へ泊る、關口は始終泊つて居る木賃宿に居て夜になると宮本は支度をして一緒に出て行く、其が毎晩だから旅籠屋の亭主は變に思つて居る　女『どうも梅の一番へ泊つたお武家樣は金放れも宜し、言葉の樣子では江戸の方に違ひない、宜いお客樣だと思つて居たが、夜になると怪しな男が尋ねて來て呼出しを懸ける、最初は若いお武家だから女郎買にでも往つたんだらうと思つて翌日旦那樣旅のお慰さみ一晩位ゐは御無理はございませんが、毎晩お明けなすつちやア宜しくございません、相撲女で厚過ぎるからといつて毎晩入して悪い病でも受けると大變です、旅の梅毒と木刀は脱けた例はないといふ位ゐで、好加減になさいましといつたら大層お笑ひなすつた　女『其はお前さん考へ違ひをして居るんだあのお武家樣は何も女郎買に往くんぢやアありやアしない　文『女郎買に往くんぢやアねへといつたつて毎晩夜が明けなけりやア歸つて來ねへぢやアねへか　女『だからさ職業があるんだアね　文『お武家樣に職業があるかへ　女『夜の職業といへば大概解つて居るぢやないか、泥だよ　文『泥……泥棒か　女『まアそんなものさ、昨夜妾が見て居たら二人とも鉢卷だの襷だの其から木刀だのを持つて出掛けて往つたから的確泥棒をするに違ひないと思つたよ　文『そりやア違ふ、泥棒なんぞする方ぢやアねへ、其は洒落になさるんだ追剝の眞似でもしてワツと驚かして跡でお金をお遣んなさる、粋な洒落だ　女『嘘だよ、洒落に追剝をする者があるものかね　文『何しろ變な事をするお客樣だ』と旅籠屋の夫婦は氣を揉んで居る、宮本先生何處へ往くかといふと關口彌太郎先生と共に毎晩四ツを打つと旅籠屋を出て三島明神の境内へ往く、何をしに往くかといへば關口彌太郎先生が多年工風した天狗昇飛切の術上へ二十間左右へ十間ヅヽ飛ぶといふ大した妙術であります、之を宮本へ授ける、宮本はまた關口先生へ對して神免二刀流を授ける、人跡絶えたる三島明神の境内に於て互ひに術を譲り合ふといふ、双方共武士の情けといふ事を重んじて關口は宮本が岸柳と試合をした時に後れを取らんやう天狗昇飛切りの術を授け、宮本はまた關口のまだ知らぬ二刀流の極意を指南いたし、半月ばかり三島に逗留して居りましてスツカリ覺えました、宮本は妙術を授かつて天へ昇らん許りの喜こび、厚く禮を述べ、出立といふ時に亭主を呼んで　武『亭主や、お前が心配して意見をして呉れたが、私は女郎屋へ往つて不思議な術を覺えて來た　主『ヘエ　武『待ちな今見せてやる』表へ出るとヤツといつて飛上つた、一息に二十間飛ぶ二階の屋根へ飛上つて安坐をかいて　武『亭主こういふ事を女郎に敎はつた』亭主驚いたの何のつてアツといふと尻餅を突いた、ヤツといふと武藏飛下りて　武『どうだ亭主　文『ウヘーツ恐しい事を覺えてお出なすつた　武『毎晩女郎に敎はつたんだ　文『大變な女郎をお買なさいましたもので其女郎は何んでげすか矢張り人間で　武『左樣だ、母親は人間だが親父は何でも天狗だとか云つた　文『ヘエーさうでございませう、人間業ではない、亭主め驚いて居る　武『イヤ關口先生お庇蔭を以て漸く習覺えました　關『其では宮本氏必らず御油斷なく　武『御厚情の程生涯忘却いたしません　關『何れ再會をいたすが、上方へお出になつたら京都の吉岡兼房之は是非お尋ねなさい、其から大和で柳生十兵衛先生無双の技倆であるから是亦お尋ねなさるやう　武『忝けなく存じます、其では重ねてお目に懸るつもりでございますが御機嫌よう』と東西に別れて宮本武藏只一人東海道を上つて參り、三州岡崎の宿へ著し桔梗屋又兵衛といふ旅籠屋へ泊りましたが玆に又一人の豪傑に出會する一席。

四月二十五日九星
舊三月廿三日壬辰　本命五黄八方塞　先勝

▲五黄● 儀禮主義の事有日 新事見合南方は吉 暗剣殺なし ▲六白● 利益拡大の日萬で相有待人居らん ▲七赤● 開運延暇の日 不圖立身出世の道に出づ勇進で吉 好報到 ▲八白● 互損となること有注意 新事手控 商事医藥は妨なし ▲九紫● 吉縁よき日 轉居開業入學名弘求職金作嫁娶入家皆吉 求る時皆吉 ▲一白● 闘のわるき事有り 新事手控諸事は吉 一切のせわ事を続ず ▲二黒● 女難財用心の日 新事手控諸事は吉萬可喜にせらるべし ▲三碧● 厄介至極の事有日 新事手控諸事は吉 小児衛生 諸事注意 ▲四緑● 拾す定規の事有日 新事手控諸事は吉 婦人のせわをなす勿れ

泌尿器病専門
入院隨意(診察夜九時迄)
腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　横痃　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院
電話一四一九番

島根縣人 **佐々木松四郎**に告ぐ
至急用談あり歸國するか又は居所を通知せよ◎居所通知の御方二人を限り一圓進呈▲石州有福村佐々木兼作

てんかん
病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の方切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥をお知らせ致し升
◎名古屋市中區南小川町　**救生舘**

滋腎 田春丸
陰萎病並に神經衰弱に大効あり
一週間分金七十五錢　三週間分二圓　送料各二錢
東京銀座　發賣元　岸田吟香
振替口座四七七番

每月丸
月やくぐすり
月やくを通し子宮病を快治す
月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
■月々經水の日定まらず或は多きに過ぎ、不同の人、又月經時其前後に異情あり腰又は子宮部に疼痛或は痙攣ある人其他月經不順・月經不通より起る症〇逆上強く頭痛めまひ〇目かすみ耳鳴り動悸高ぶり〇食物進まず氣分鬱ぎ腰、下腹に痛ある諸症に特効あり常に持藥とせば月經の異動を調へ惡血を下し、便通を心よくし、子宮病に罹る憂なし。
定價　半週分貳十五錢　一週五十錢　二週壹圓　三週一圓四十錢
本舖　大阪東京　丹平商會藥房
●本劑は全國到る處の藥店にあり

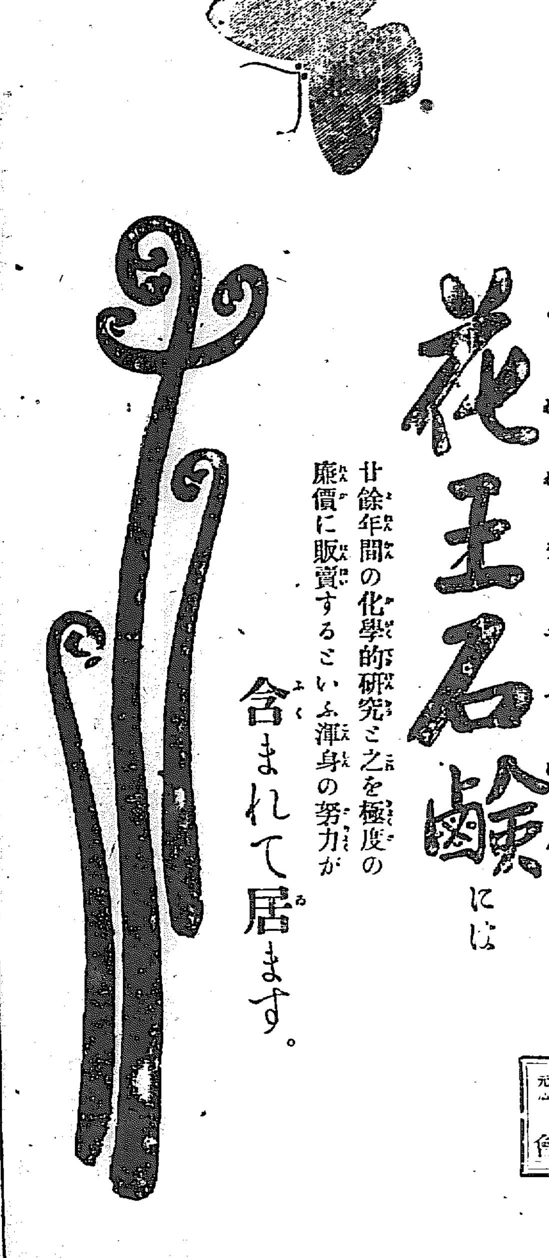
小兒の眼病
十歳以下の小兒の眼病には特に研究せられたる小兒用大學目藥を御用ゐあれ
各藥店にあり價十錢
小兒用 大學目藥

醇良清酒
和か松
若松商會酒造場
大邱東門町　同精米部
電話一一二番　振替一〇三三七番

滿蒙處分論　定價金一圓
(クロパトキン將軍原著)
發行所　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

七日ツケタラ鏡をどうぞ色白くなるゲンソ液
小壜二十錢　徳用四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す
東京和泉橋際ゲンソ液本舖　松本藥店

ニキビとり
藥用美顔水
青年男女　皮膚の衛生
△ニキビは斯して出來る
一體人の皮膚は毎も多少共脂氣があつてすべくしてゐますが、是は皮膚こいふ細い管から皮脂を吹出してゐるからです。併し物は兎角一利一害で、此皮脂の吹出方が餘り多過ぎるこ、皮脂は皮膚の口を塞ぎ、痛痒い厭な感じを起させ、終に醜いニキビこ成るのですが男女こも青春の頃は此皮脂が多い爲ニキビも亦多く、其れを捨てておくこ、鑿瘤即ちニキビの塊こなり、如何にも見苦しく全然容貌の美を毀して終ひますから。若しニキビが生たら、桃谷藥學士の創製で其後も丹波山本二博士が顧問、桃谷藥學士始め數人の藥學士が技師こなつてゐる桃谷研究試驗部の研究で一層効力が加はり、今の世に是以上進んだニキビ藥は無いこ言はれてゐる藥用ニキビこり美顔水を直ぐ用ひるのが一番有効な方法です。尚此藥を常用すれば、色を白くし肌理を細にし艶活々こなり、素顔の美しさを増し、尚又蚤や蚊や南京虫に螫された時塗ければ毒を防ぎ、皮膚氣持よく、跡が腫物等になりません
定價　拾貳錢　廿五錢　五拾錢　壹圓
▲各藥店化粧品小間物店にあり
東京 大阪　桃谷順天館



早蕨の拳にも
山を拔く力が籠つて居ます。
世界的廉價の良品こ謳はるゝ
品質本位
花王石鹸には
廿餘年間の化學的研究こ之を極度の廉價に販賣するこいふ渾身の努力が
含まれて居ます。
花王石鹸本舖東京馬喰町　長瀬商會
花王石鹸西日本總代理店元賣大阪安土町　大崎組商會

京城日報

廿四日朝刊
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢（郵送料共） 三ヶ月金壹圓九拾錢（郵送共）
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 巖口政太
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號（編輯用）長三四五番（營業用）長二三六番 一二一四番 一六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

第三版

に土星を見るに至つた……出でゐる、それは土星の珠部の光明現象が著……

ドヨーウエル氏は惑星の研究家星に就いては殊に深く造詣…ある、土星も勿論惑星であ

種々な事情によつて起つた一時的の象であらう譬へば瓦斯や水蒸氣なが起つても斯かる事はある、土星

的に以上の現象を見たのであらう、土星の環を云ふのは、此の星にのみ特有の不思議な現象であるが、これ

てゐるのであるが、土星は日此頃日が暮れると西南の中天双子座の中に其の大きな特徵ある赤黄い光りを地

●大阪鮮支貿易

四月中旬の大阪港對朝鮮及び支那移出入貿易は移出品價六十萬二千八十

	大正五年四月中旬	大正五年累計
移出品價	[illegible]	[illegible]
移入品價	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
入出超過	[illegible]	[illegible]

▲移入重要品 米 豆 及 牛皮及び水牛皮 [illegible]

▲對支貿易地方別 香港へ輸出 香港より輸入 [illegible]

貿易と自給策（二）

京城日報

凡そ富の消長は貿易の盛衰と相伴ふを常とす。明治四十三年十月新政施行の初に當り、各道長官會議に於て寺內總督は朝鮮の貿易について訓示せる所に曰く。朝鮮の歳入は一千萬圓內外なり。其の財源は地税の外關税を重なるものとす。而して輸入は常に輸出を超過す。爲に朝鮮人が自己の勞力に依り獲得する利益より更に多額の資金を流出するの結果を見る。如此は將來經濟上の維持頗る困難なり。故に朝鮮人の日用品は之を外國に需むることを避け、自國に於て生産することを計らざるべからず。

更に明治四十五年一月各道內務部長會議に於て、總督が朝鮮人の生活狀態に鑑み、貿易の方針につき懇諭せる所は最も平易に其眞意を明かにせるものと見るべし。即ち其內容に曰く。朝鮮の輸入超過は年々三千五百萬圓內外なり。即ち其れ丈を始終借金し行く譯なれば之を努め補うて三千五百萬圓丈け輸出を殖やさざるべからず。然れば先づ朝鮮が對等の貸借關係に立ち行き得る次第なり。尤も此中には、必要已むを得ず輸入するものもあり。即ち諸般の工事に使用する機械の如き之れなり。奢侈品の如き、或は日常用ふるものとしても、絹物類は著ずとも可也。全體無智なる人は少し懷に金あれば役にも立たぬもの、例へば綺羅美やかなるものを欲するは人情なり。朝鮮人も此等の弊には陷り居れり。今日此際、大に勤儉貯蓄に勉め、所謂無用なるものは買はずといふ所まで注意し行かざる可らずと思ふ也。日用品の如きは、自分等にて木綿が出來るならば、可成自分の身邊はそれらにて間に合せ、他所の物は使ふべきに非ず。殊に外國より買ふものは、買はずとも濟むものは、買はずといふ所まで極端に行きたし。奢侈を教ふると云ふことは、行政の上に於て最も注意すべき事なり。日本は數年間輸入超過なり。朝鮮は最も酷だし。此處に金の無きは尤も也。御互は滿腔の熱誠を以て此の國を改良し、斯の人民を富ましむることに力めざるべからず。此點に就ては、最も彼等に大聲叱呼して了解せしめたし。從て我等初めて以て之を率ゐて行くことも無益ならざる事たるべし。何又、物に依ては、漸次輸入の減少すべきものあり。例へば內地より來る物さへ支那より來る物と餘程多きが如く、支那より來る物は、支那の時局の關係にて、目今輸入餘程減じ居るが如くなれば、斯かる際に內地物を移入して之れに代へ、相當なる物を用ひしむるに至らんことを必要なりと思考す。木綿類にても總て同胞が製作せる物を用ひしめ、又た買はずとも濟む物は買はせざるやう、一方は勤儉貯蓄を獎勵し、奢侈の風を防ぎ、日用品其他自國に生産する物を成るべく使用するとの考へを、朝鮮人の腦裡に注入し行きたしと思ふ。此の主義にて數十年間繼續し行かば、幾分か此の朝鮮の改善に付て效果を見るならむ。

以上は當時訓示の速記錄中より其の意味を取り記したるものなるが、總督が先づ朝鮮の富力を增進する爲、輸入を制限し、奢侈と浪費とを防ぐについて、如何に苦心せしかを知るに充分ならずや。

基礎將に成る 朝鮮の鑛業

京都帝國大學教授工學博士 高壯吉氏談

朝鮮は諸種の鑛物に富むも古くより金鑛、砂金を以て聞えたる國とて鮮人等は之れに熱中し隨所に鑛山、砂鑛地を發見して不完全ながらも之れが採掘に盡し而かも相當の産額を示しゐたり、從つて其他の鑛石に著眼したるものは極めて稀なる模樣なりしが、併合以來

▽內地人其先驅となりて銀、銅、鐵、石炭、黑鉛等續々未發の鑛石を發見し、秩序ある設備の下に之れが採掘を開始し若しくは發掘せむとするに至りしは最も喜ぶ可き現象なりといふ可く、現下の鑛産額は未だ左したる巨額を示さずと雖も、基礎時代を脱せんとする朝鮮の鑛業界は之れよりして漸次顯著なる發展の緒を擧げむこと最早疑問の餘地なきのみならず、內地の富豪亦競うて之れに放資を試みむとする傾向あり、朝鮮の鑛産物が

▽母國の一大財源たるに至るの日は敢て遠き將來にあらざるべし、就中重石鑛の如きは近時隨所に發見せられ、鑛業令改正に伴ふ出願者數百名に達し之れが買鑛者亦各地に奔走せる狀只々驚歎の外なし、本鑛の時價は今や一噸五千餘圓を唱へ、戰前に比すれば數倍の騰貴を示せることゝて産地に富める朝鮮は其熱の旺んなることまた無理からぬ次第なるべし、今日內地の重石にして外國に輸出さるゝは茨木及び山口兩縣地方に於て産するもののみなるが朝鮮に在りても今後續々發掘さるゝに至らば啻に輸出に止まらず、內地に對しても亦需用の激增に伴ひ多大の移出を見るに至る可し

▽重石の採掘は小資本にして足ると唱ふるものあるも、そは皮想の見にして永遠の計は到底根本的設備に俟たざる可からざるが故に余は內地の大資本家が之れに投資を吝むことなく、完全なる設備によりて健實なる經營に努め、地下の寶庫を開拓するに遺憾なからしめむことを切望す。鐵鑛も亦鮮內有望鑛石の一なり、目下內地に於ける鐵の需要は大約百八十萬噸なるが其內百四十萬噸までは全然之れを外國に仰ぎ、國內に於て製鐵さるゝは漸く四十萬噸に過ぎず、殊に其鑛石の如きも大半之を大冶鐵山に需め居れる現狀なるを以て鐵鑛は我邦に取りて最も必要の鑛物たり、隨て朝鮮にして續々發掘を見るに至らば國益の增進推して知るを得べし、吾人は此點に於て鎭南浦製鐵所の如きが斯界の發展に貢獻する所鮮少ならざるを思ひ、之に對して多大の敬意を拂はざるを得ず

▽利原の鐵鑛は目下製鐵所に於て試驗的に少量を使用しつゝあるも將來同鑛山の設備と相俟ち多量の使用を見るに至る可し、余は今回同鑛山を視察したるは附近の鑛地を踏査し、將來の參考たらしめむとするに過ぎず、又咸南には比較的良質の黑鉛を産するも何れも土狀黑鉛にして鱗狀黑鉛に乏しきは遺憾なり、さり乍ら土狀黑鉛と雖も化學鑛業の發達は益々其需要を擴大す可きこと勿論なるを以て之れが發掘は國家的事業たるを失はず、今日に於ても其需要は單に外國に止まらず內地亦相當の數量に達せるならむと思惟す

北鮮山水（42）（十二）北方の首都

東拓理事 村田俊彦

鏡城

羅南より更に南して小山脈を越え鏡城邑に達す。邑は鏡城川平野に在り三面山を負ひ、一面開けて獨津と接す。獨津は一灣曲なり。邑北の丘岳を勝閣山と稱す。翠松鬱茂、日本海を望み眺望甚だ廣濶なり。山下靖壯社あり。紫嵐閣繞し白雲吐出す。恰かも內地の村社に似たり。高麗の勇將尹瓘を祀るところなりと云ふ。採種田及び天吼園亦此近邊に存す。鏡城は他の道廳所在地に比し、甚だ其趣を異にせるものあり。即ち今日猶舊時の城壁を存す。城壁は東西二百間南北三百間の方形をなし、其構造は京城に於けるものと異ならず四大門七砲樓を備ふ。三百餘年前の築造なりと云ふ。遙かに獨津より之を望むことを得べし。余茲に遊び端無く蒙古境の宣化城を想起せり。支那の城壁は單り宣化城が他に異なるのあらず、南北共式を同じうすと雖も、周圍の山川華北に似たるものならむ。自ら宣化城を思ひ出さしめしにあらず、又南門樓に對しては、大和の國の岡寺の山門を思ひ出さしめぬ。蓋し其山門は天智天皇の宮殿にありしものにして國寶に屬す。余は專門家にあらず其構造の如何は之を知らずと雖も、一見彼此其趣を同じうするやの感を生ぜり。岡の山門は南門樓よりも遙かに古く、入古雅なるは云ふまでもなし。唐の源泉流れて一は我國に入りて大和にも其の沼澤を留め、一は朝鮮に下りて鏡城にも其の痕跡を印せしものなるべし。道廳は彼城壁の內に在り。楊柳數株、廳後の荒隍に煙を帶ぶ。市街は城內及び城外に在り、一千戶弱五千人强を有す、內二百三十戶餘七百人弱が內地人なり。西壁に沿うて小舍を列し、粟、明太魚等を賣るを見る。一種の雅趣あり

榆城平野

羅南、清津間稍羅南に近き所より分岐し、北に走り、トロ軌道を横ぎり、國に添ひて平野の尖點に位す。平野これより榆城に達す。榆城は清津、羅南に及ぶものなり。主として粟、麥等を植ゆ。此平野亦朝鮮の多くの地の例に洩れず、幅員廣しと雖も、朱夏榆城河伯の激怒に遇ふことありと云ふ。假令如何なる植物をも此所に栽培すとするも、亦護岸工事を必要とするものならん。目下鐵道建設中なるを以て、榆城の市況活氣を帶ぶ。此の邊より奧地にかけ、温突の煙筒頗る人目を惹くものあり、即ち鐵道建設に用ひられたるセメントの空樽多きを以て、之を積重ねて煙筒となす。戶々大概其背後に黑煙を噴出せる高き積樽を見ざるはなし。榆城の近邊に高德邑なる村落あり。此處に神宗の二王子の碑を存す。史に傚ふ、文祿の役、此の村に朴惟一なる者あり、一夜二龍山麓に下り毬に苦しめらるゝを夢み、覺めて之を異とし、探究遂に二王子が叛臣鞠景仁の爲に縛せられしを知り、身を以て日本軍に投じ、加藤清正に說くに仁義を以てし、哀訴措かざりしかば、清正遂に其誠忠を嘉みし、二王子を赦す。此に於て朴惟從して我家に歸り、奉仕怠らず、亂平ぐるに及び、供奉して京師に送還せりと。彼の碑のある所即ち朴惟一が二王子に仕へたる地たるなり。榆城を過ぎて獐項あり。一村落を成す、獐項なる地名北鮮の他にも是あり。或は獐多かりしものか。

朝鮮人口の將來 今後三十年の推算

吾朝鮮に於ける人口は産業の開發、交通機關の發達進歩と共に逐年增加を來し又之を生産の統計に見るも昨年中に於ける出産數は內地人千六百四十三人鮮人五千二百三十八人外國人十七人合計六千八百九十八人を示し一日平均出産數十八人九分、一時間三十分に一人宛の割合を以て出産し居れり京城の一區域に於ても亦同樣なり更に之を總督府に於て調査したる從來の人口增加の割合を見るに

△既往の五箇年間 先づ併合前なる四十二年の人口は內地人十四萬六千百四十七人朝鮮人千二百九十三萬四千二百八十二人合計千三百八萬四百廿九人にして四十三年の併合後五年間の人口增加を見るに

	內地人	朝鮮人	合計
四十三年	一七一,五四三	一三,一二八,七八〇	一三,三〇〇,三二三
四十四年	二一〇,六八九	一三,八三二,三七六	一四,〇四三,〇六五
大正元年	二四三,七二九	一四,五六六,七八三	一四,八一〇,五一二
大正二年	二七一,五九一	一五,一六九,九二三	一五,四四一,五一四
大正三年	二九一,二一七	一五,六二〇,五四〇	一五,九一一,七五七

以上の統計に據て見れば朝鮮人口の增加著しき樣なれども右は施政の整頓に伴ふ民籍調査の結果に外ならず今後に於ける人口の增加數を現在在留內地人の增加將來內地人の移住に因る增加及び朝鮮人の增加の三項に別ちて今後卅年の趨勢を推定するに

△內地人の增加率 大正二年末朝鮮在留內地人二十七萬一千五百九十一人の生産增加率を十年に對し一割三五とすれば三十年後に於ける人口は十年後に於ては三十萬八千二百五十六人二十年後に於ては三十四萬九千八百七十一人三十年後に於ては三十九萬七千百四人となり之れに內地人にして將來朝鮮に移住するに因り增加す可き數を最初の十年に三十萬次の十年に三十萬次の十年に四十萬とし且之か生産增加を前項の率により加算する時は三十年後に於ては在留內地人總數百五十二萬四千七十二人となる割合なり

△朝鮮人の增加率 朝鮮人の結婚は時勢の進展と共に緩和されんとするの傾向あれど統計の示す處は尙早婚早老の者多く昨年中京城內の結婚者千四百九十六組の內大部分は早婚の者多し婚期の適否は人口の增殖に甚大の影響を及ぼす可きものなるも大正二年中に於ける朝鮮人口數千五百十五萬九千九百二十三人にして之が將來に於ける生産增加率を十年に對し五分とすれば三十年に於ける人口は十年後千五百九十二萬八千四百十九人二十年後千六百七十二萬四千八百四十人三十年後千七百五十六萬一千八十二人となる割合なりと

京日詩壇

○洗劍亭對雪　安永 春雨

出城、山崎、水溪、水達亭東、的皪花開樹、繽紛絮散空。日沈銀海底、人坐玉壺中、皇澤遐新域、瑞杯祝歲豐。昨夜天公試玉龍、敗鱗殘甲滿千峯、乾坤一掃黃金氣、洗劍亭前獨植節。

評曰 隨手拈來、律詩後聯絶句起承神逸氣淸。

○同上　松田 學鷗

冰亭疑砕積、四山遮一亭、翔雲嶷虎氣、陰壑靄疑、腥盟掃秋氣黑、名留箇青、劍光來逼骨、回憶義人蹤。

評曰 突兀而來逼首蒼蒲、

○同上　成田 碧石

等白當年洗劍亭、欄頭敵句對嫂婷、零朱屛不埋行、一碧空流戰血腥。

評曰 字々活動、情亦有餘、

○同上　栗原 華陽

城、北、塞、布、雪、裏、亭、四、山、凝、白、一、溪、青、當年劍氣消、殘、跡、、爽、蒼、松、認、古、亭。

評曰 筆鋒亦颯爽

日報歌壇

□胸にしむもの　京城 古都子

柳の葉月にかすめる春の夜の我が胸にしむものゝはかなさ

は、思へば心ぞくらき百千鳥空の春日に群れたち行けど

恨まれてありてふ事もせめて身のしるしとやせむ悲しかりける

潜み入る心の隈のかなしみを鋏けんとして迷ふ我が魂

なやましき黒き土より咲き出でぬ旅のかり家の連翹の花

□土塊　京城 小谷北露

悲餞の土の濕りに倒れ木の石ともならで新芽を吹きぬ

土堀ればこゝにも春の香ぞみてり懐かしきまゝ手にとりてみし

第十七 歐洲大戰寫眞畫報

▲豊富なる畫報 切實なる記事 相俟つて大戰の眞況 獨り本誌上に活躍す

四月十五日發行 增刊に限り 定價金廿八錢 郵稅二錢

東京 本町 博文館

お花見割引

牛耳洞行臨時汽車運轉

四月二十五日より五月七日まで
南大門、龍山驛より倉洞行往復切符發賣
一等 八十錢　三等 四十五錢
五枚以上の御申込に對しては南大門、龍山より早速配達す

四月三十日（日曜日）に限り南大門倉洞間に
お花見臨時列車を運轉致候

ゆき		かへり	
南大門發	午前八、四三	倉洞發	午後四、〇〇
龍山發	同 八、五二	龍山着	同 四、五六
倉洞着	同 九、三〇	南大門着	同 五、〇五

臨時列車は三等客車のみにて雨天の場合は運轉休止致

朝鮮總督府鐵道局

理學博士三宅驥一序　理學士田原正人校閲　八木邦造編

新撰 植物漢和字典

四六判全一冊 ●定價一圓二十錢 ●特價金一圓 ●內地送料八錢 ●朝鮮、臺灣、支那、書留三十錢

此書は漢和歐植物名の關係を明かにし索引三種を附し搜索に便す各新聞雜誌上好評嘖々たり今や農藝家園藝家は勿論農業師範中小學校の備品にして又社會各階級人士座右の實典なり

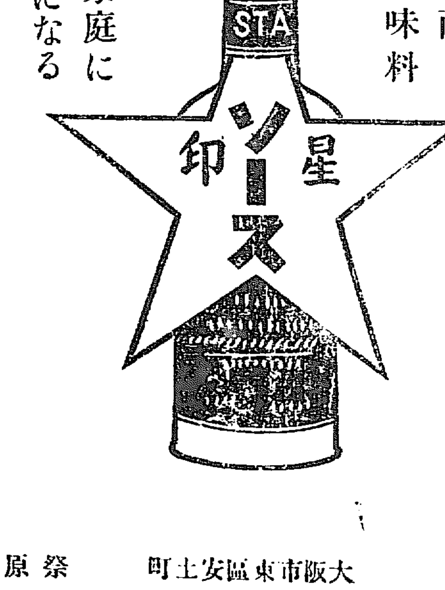
發兌元 東京市神田區北神保町 山海堂出版部 振替東京二一六九一番
東京市神田區北神保町 山海堂支店 振替東京一七一九七番

ソース界の明星

星印ソース

純良にして而も美なる調味料

今やいづれの御家庭にても御愛用になる



星印ソース

至る處の雜貨店洋酒食料品店にて販賣す

發賣元 大阪市東區安土町 祭原伊太郎

○英紙の總統退職觀

退職は先づ財政の窮乏から

倫敦タイムス北京特報に依れば北京政府と南方との間接的交渉は結局不調に終るべしと推せらる右は南方が袁總統の隱退を迫りて已まざるが爲めなり尤も各省よりの送金絕えたる爲め政府の財政は必ず困難を告げ從つて軍隊の給料支拂ひさへ不可能と爲るべく斯くて袁總統は終に退職の外他に途なきに至らん但袁總統は總統自身及び部下の生命財產の安固だに保障されなば何時にても退職すべしと信ぜらる（倫敦電報）

○伍廷芳の退職勸告

上海在住の伍廷芳は時局に鑑み袁總統に對し退職勸告の長電を送れり（上海特電）

○龍陸兩軍戰機熟す

北京公報に依れば龍濟光と陸榮廷との兩軍戰機愈々熟し近々交戰を見るに至るべしと（北京電報）

○蘇州終に獨立宣布

段芝貴は段祺瑞に代り參謀總長と爲る又蘇州は二十日終に獨立を宣布せり（奉天特電）

○正に是れ斷獄の吏

佛國新聞ウ氏の對獨演說を評す

佛國新聞紙は論じて曰く中立國の權利が獨逸の蠻的行爲に依りて脅かされ之に對抗して人道を擁護せんとするウヰルソン大統領の演說は思慮あり且つ忍耐強き同氏の人格より見て斷獄の吏の儼然として宣言せる懲罰又は判決とも稱すべく各人の口に語り傳へて永遠に忘る能はざる所なるべし而して之れが審判は獨逸の民衆之れを代表し居れり而も獨逸にしてウ氏の主張を容るゝとせば之れ明かに屈從を意味するものにして彼等が依つて以て正義に反する自己の勝利を贏ち得ん事を冀ひし戰法を拋棄せざるを得ざるに至るべしと（巴里電報）

○紐育州議會の決意

紐育州議會は大統領ウヰルソン氏の反對黨たる共和黨が過半數を占め居れるに拘はらず對獨問題に關し全然ウヰルソン氏を援助すべき決議を爲し尙米國の名譽を維持する爲め州內の資源を賭すべしとの協議を爲す目的にて州議會の再會を提議したり（東京特電）

○大連の金融界

▲輸出益不振　三月中に於ける大連の金融狀況を聞くに、特產物市場は依然不況にして近來特に外國の需要を喚起せる豆油の昂騰を除きては大豆、豆粕、高粱等の特產物は銀塊相場の奔騰の爲め皆一切に下押し、只さへ船腹の不足、運賃の暴騰等によりて不引合なる輸出は愈々不振を極むるに至り定期相場は尠なからざる混亂に陷り、特產物商、錢舖等共に昂奮の狀態を示し一時市況は亂調子となり、金融は稍々澁滯鈍狀を呈したるが月末には銀塊相場の弱氣配と共に市場も稍緩和し九州行き豆粕の輸出も漸く開始せらるゝ抔、比較的平穩の裡に越月せり

▲輸入不活潑　輸入側は需要の季節なるに拘らず綿糸布の如きは昨年の作物不良による購買力の減退と染料の暴騰により高値と相俟つて需要を抑制せること甚しく荷捌不活潑にして此方面も亦資金の活動を誘起するに至らざりしもの丶如し

▲銀塊大昂騰　倫敦銀塊は月初め二十六片十六分十五なりしもの十五日には二十七片を唱へ、更に漸次昂騰して二十五日には二十八片十六分十五となり實に二三年以來の高値を示したるが月末には稍々弱氣配を呈せり、如斯高値を示したる原因に就ては歐洲大陸印度筋よりの注文頻々たるによるは勿論なるが、就中英國が多數の印度兵を埃及に送りたる結果之に對し多額の銀貨を廻すべき必要に迫られ、米國方面に銀塊を買ひ進みたるによると云へり、銀塊相場が斯の如くなると共に同地の相場も亦昂騰し月初め八十九圓九十五錢なりしもの十五日には九十一圓七十五錢を唱へ、漸次昂騰して二十五日には九十八圓七十五錢の高値を示せり

○奉天の金融界

▲一般財界不振　鮮鐵經由貨物增加　奉天に於ける三月中の金融狀況を聞くに前月來强合なりし倫敦銀塊相場は月初二十六片十六分の五を唱へしが追日上騰を示し廿五日には二十八片十六分の十五の入電を見るに至り小洋錢亦之れに追從して月初百圓に對し百三十八元六十錢なりしもの、中旬には百三十元臺を破り下旬には百二十八元二十錢に暴騰したるを以て必ずや輸入品は溌剌たる好況を呈す可き筈なりしに拘らず豫想程の活氣を呈するに至らざりき是れ內地の物價騰貴と運賃の暴騰とに影響する處鮮からざりし爲めなる可しと雖も客秋の不作が地方の購買力を減少したるもの亦多大なると南支動亂は遂に帝政の取消となり政界の前途容易に逆睹すべからず省城の天地亦不穩の情勢に隨處に傳へられ口耳相濟するの狀況にして人心何と無く不安の念に驅られたるのみならず後述の如き支那側金融逼塞の事情は相俟つて財界不振の因由を爲したるが如し

▲輸出一振一縮　輸出品の大宗たる大豆は引き續き內地相場との出合惡しく殊に船腹拂底運賃暴騰及び銀價の騰貴等は最も輸出界を不振たらしめしが奧地大豆の在荷は開原のみにても五十萬石を算し其他各地の在荷亦相當にして支那商の先高見込みは何時迄持續し得可きや頗る疑問なり或に遼河の解氷をまつて一氣に處分せらる可しと唱ふるものあるも之れか前途の解決如何は實に本年財界の一大懸案なりといふ可し反之豆油豆粕の兩者は手合あり多少資金の需用を喚起したるが歐洲戰亂以來騰貴に次ぐに騰貴を以てせし金物類は獨り非常の好況にして內地より注文陸續絕えず、當地商人は新民屯、錦州、天波は勿論遠く長春、吉林、哈爾賓、蒙古方面に迄之が蒐集に努め日も亦足らざる盛況を呈せり、而して輸出界に於て看過し難きは一新現象は殆んど底止する處を知らざる船賃の暴騰は茲に朝鮮經由陸便輸出の新傾向を發生し來りたること之れなり

▲支側金融逼塞　支那側の金融は前月來銀紙の差に基く各銀行の兌換請求は依然止まず一日最高七十萬元に上り各行の店頭市を爲すの有樣なりしも當事者の努力は銀塊騰貴の大勢と相俟つて遂に一昨年の如き窮狀を暴露するに至らずして經過することを得たるは省城財界の爲め欣幸とする處なりされど如上の波瀾は貸附金の回收と新規放資の手控へとなり金融の逼塞は遂に輸入品の賣行上に一大打擊を與へ、日滿貿易上に影響する處尠からざりしは遺憾なりき

○昨年遞信收入

大正四年度の遞信收入は現計三百四十二萬五千三百五十圓にして之れを前年の實收に比すれば八分七厘の增乃ち二十七萬四千五百圓の增加となり居れるも其の收入豫算より二十九萬圓八分二厘の減收を示せり尙ほ收入中最も成績よきは切手收入たる電信、郵便端書等なりと

○淸津通過貿易

咸北淸津港より間島及び琿春地方に對する通過貿易は過般來幾分活況を呈し來れるが今三月中に於ける貿易狀況を見るに

▲輸出劇增　三月中間島仕出五千九百七十二圓琿春仕出一萬三千五百四圓にして總計一萬九千四百七十六圓前月に比し一萬五千百七十九圓の激增となれり之れが原因は前月輸入減額の爲め本月に入り漸く品薄となり之等仕入資金等の關係上番椒及染料の出廻りと共に一千五百餘圓に達し小豆は內地相場の稍持ち直せる爲め二千四百六十圓に達し又琿春地方は豆油の新釐取引稅關其他の關係上淸津港を通過せざるべからざるに至りたるに依り激增其額一萬三千四百五十圓に達せるが爲めなり

▲輸入增加　三月中間島仕向は五萬八千九百四十九圓琿春仕向け二萬四千三百二十二圓計八萬三千二百七十一圓にして前月に對比五萬一千五百五十三圓の激增となす即ち前月は舊正月需要の反動にて荷動き少かりしと雖も漸次品薄となり農繁期の切迫せると解氷期に入り交通不便となる上に貨式車輛支那馬車の交通禁止に依り運賃の高きを免れざるを以て見越輸入盛んになり小麥粉七百九圓砂糖五千四百九十四圓綿糸四千九十一圓生金巾三萬八千五百八十三圓其他の綿布九千九百四十圓及び天寶山採掘用金物機械一萬二千六百六十二圓に達したる等に原因するものなりと（元山）

○泰川水利通水

東拓にて經營せる平北泰川水利組合は昨年末大體の工事終了したるも會社は尙ほ毛細溝道路等の築設開鑿の必要を認め春來其の土工を進め居れるが數日前試驗的に組合灌漑總面積に對し通水を行ひしに所成績良好にして充分今夏よりの挿秧に適すべしと

○蠶業獎勵新施設

京畿道本年の地方費事業としては楊州郡渼金面に原蠶種製造所同龍仁郡內四面に蠶業講習所を新設し原蠶種の製造を爲し一面蠶業講習所に於て養成したる鮮人の子弟を以て專ら蠶業の發達改良に力む可しと

○遞信局と共濟組合

遞信局にては其の現業員以下傭人までの總數四千八、に近く職員相互間の救濟機關を組織する事は其の職業の性質より云ふも必要にして現に遞信省に在ては救濟組合及び遞友會の如きもの存し吉凶禍福を相互慶弔愍問しつゝあり朝鮮鐵道局亦共濟會を組織し居れるを以て遞信局も若干國費の補給を受け多數局員の共濟組合を成立せしむべく目下頻りに調査中に屬し何れ事實となりて現はれ來るべきが唯遞信局の系統なるも官吏ならざる多數の郵便所員をも一律に包括するや否等は問題となり居るもの丶如し

○航路標識新設調査

本年度に新設すべき遞信局の朝鮮沿岸航路標識は目下其の新設個所に付調査中なるが決定次第其の工事を土木局に委托すべしと

廣梁灣行

勝村生

○五里足らずの路を五時間餘りも費して正午頃に廣梁灣に着いた、雨は少し歇む、兩側には荒廢した小さな町が續いて居る。これは鹽田築造時代に盛んであつた料理屋の廢墟であると云ふ事が後に分つた

○製鹽場の官舍は頗る淸潔で見たばかりでも如何にも心持が好い、洋風建の小學校の窓からは元氣の宜い子供の歌ふ聲が聞えて來る左手の方に低い見渡す遙かの末は小雨に煙つて果てしも知らぬ如うな廣い鹽田が續いて居る、昨日からの雨で鹽田は休業して居る、畦畔の處々に立つて居る藁家には鹽夫が雨の休みに思ひ切つて手足の疲れを癒めて居る

○道路の突き當つた處が製鹽所で廳舍は可成立派のものだ所長當田勇氏を訪ひ製鹽に就て種々の話を聞いた上に廳舍の後方に在る氣象觀測所に登つて鹽田及び作業の說明を聽き大[illegible]神宮と鹽釜神社を祀つた社に詣で小學校を參觀して廳舍に歸つた

○當田氏から鹽田に於ける世間離れのした樂しい生活狀態などを聞いた午後三時頃辭して去らんとすると當田氏が芳名錄を突出して何にか書けと云ふ之れには吾輩非常に閉口頓首して了つた惡筆には自分ながら愛憎が盡きて數年來毛筆では手紙一つ書いた事の無い男だ惡筆だからと辭退するのを謙遜すると間違はれて益々强ひられたので棄度胸を据えてお歴々の達筆揃ひの中に書きも書いたり折釘流に

鹽を取る濱にはおれどしかすがに
せちがらき世の風は來たらず

と出鱈目を遣つて退けて製鹽所を辭し歸路は汽車の時間が氣がゝりであるから動搖お構なしと暴虐に鞭打して七時漸く鎭南浦に歸着した（つゞく）

◎三千人以上の市街地　京畿道管內に於る最近調査の三千人以上の市街地名は所名を記せば左の如し
京城戶數五萬九千三百六十七人口二十四萬一千八十五、仁川戶數七千五百零五人口三萬一千二百六十四、以上の外以下皆三千人以上の居住地なり、東幕上下里、孔德里、上下往十里、阿峴里、驪州、利川、平澤里、水原、永登浦、江華、開城

◎魚市場賣上高　客月中に於ける魚市場賣上高は京城魚市場は數量一萬三千六百八十五貫價格一萬三千二百廿一圓、龍山水產株式會社は數量六千七百貫價格六千七百十七圓、仁川水產株式會社は數量四千五百十貫價格六千六百六十三圓京城口の丸水產株式會社は九千三百五十八貫價格一萬三千四百二十八圓なりと

▣南善北語▣

何うやら段祺瑞に國務卿のお鉢が廻つたらしい▲段は圍碁が得意で二段だと云はれて居る▲昨今の時局に對する手合せも丁度劫を打つて居る樣な觀があつたがトゥド勝つたらしい▲が、之れから地を作つて見ると何うなつて居るのだらう烏渡待て吳れは最ふきかぬ▲米國は獨逸に抗議したが今度は移民案で日本の抗議に逢いかゝつた▲獨逸の眞似をして好い加減な事を吐したら日本は聞かぬぞ▲其方が馬鹿にされたつて此方は馬鹿にされぬ▲米國下院議員キャンノン氏の言ふ事を聞け▲諸君は今でこそ其の樣な事を云ふが百年前を考へて見給へカーネギー、ロックフエラー、ハリマン、ゴンパース等のお歴々は皆な移民の子孫ぢやないか移民制限は米建國の主旨に反すると、ヒヤ〳〵▲菜氏曰く近頃の若い者は一寸手紙を書いても頗る冗長で而も辭を飾ることにのみ汲々としてゐる▲現に我輩の處に來る手紙には二尋も三尋もあるのが尠くない▲此の忙しい世の中にそんな長いやつを急いで讀む暇もないから成る丈け後廻しにする▲讀んで見ると冒頭から美文で持切り小說でも讀む樣な氣がして肝要の趣旨が何處だか烏渡見當がつかぬ▲其處で覺む端から要所々々に朱點を打てそれから返事を認むといふ有樣で人困らせにも程があると▲確に頂門の一針

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ各自申出額ノ十分ノ一

●京城府二村洞貳百六拾番地
一、垈貳拾八坪
一、最低競賣價額金貳拾八圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家壹棟
一、建坪拾七坪四合六勺五才
一、最低競賣價額金九拾六圓也
右不動產申立人　戶田長次
所有者　金甚容

●京城府太平通貳丁目百八拾六番地
一、垈參拾七坪
一、最低競賣價額金四百圓也

●京城府社稷洞百貳拾番地
一、垈八拾貳坪
一、最低競賣價額金參百貳拾圓也
右不動產申立人　釘本藤次郎
所有者　松本良藏

●京城府仁寺洞五拾八番地ノ壹
一、垈貳拾七坪
一、最低競賣價額金貳百九拾七圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺貳階建本家壹棟
一、建坪拾七坪參合壹勺五才
外ニ階坪七坪參合壹勺五才
一、最低競賣價額金參百拾壹圓也
右不動產申立人　中野權六
所有者　朴容求

●京城府光化門通百八拾八番地
一、垈五坪
一、最低競賣價額金百拾五圓也
右地上ニ建設
一、木造針丹葺貳階建本家壹棟
一、建坪四坪參合七勺五才
外ニ貳階坪四坪參合七勺五才
一、最低競賣價額金五拾七圓也
右不動產申立人　東京建物株式會社
所有者　伊藤友松

●京城府慶雲洞百壹番地
一、垈參百五拾八坪
一、最低競賣價額金四千貳百九拾六圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家壹棟
一、建坪百貳拾九坪八合四勺五才
一、最低競賣價額金五百八拾四圓也
右不動產申立人　東京建物株式會社
所有者　松本良藏

●京城府貫鐵洞百參拾七番地
一、垈參拾壹坪
一、最低競賣價額金參百五拾六圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家壹棟
一、建坪貳拾參坪九合七勺
一、最低競賣價額金百六拾七圓也
右不動產申立人　金洪
所有者　沈召史

●京城府和泉町百五拾參番地
一、垈貳拾四坪
一、最低競賣價額金百五拾六圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家壹棟
一、建坪拾貳坪壹合八勺
一、最低競賣價額金九拾壹圓也
右不動產申立人　李允錫
所有者　李國仲

●京城府櫻井町貳丁目六拾六番地
一、垈拾參坪
一、最低競賣價額金九拾壹圓也
右地上ニ建設
一、木造草葺平家壹棟
一、建坪六坪參勺五才
一、最低競賣價額金拾五圓七拾錢也
右不動產申立人　朴基疇
所有者　李順銘

●京城府元町貳丁目八拾參番地ノ五
一、木造亞鉛葺平家建倉庫壹棟（一）
一、建坪拾四坪
一、最低競賣價額金四拾貳圓也

●京城府元町貳丁目八拾參番地ノ五
一、木造亞鉛葺平家建倉庫壹棟（二）
一、建坪拾六坪壹勺
一、最低競賣價額金貳拾壹圓也

●京城府元町貳丁目八拾參番地ノ六
一、木造瓦葺平家建壹棟（三）
一、最低競賣價額金百五拾圓也
右不動產申立人　吉野萬之助
所有者　江守せい

以上競賣期日ハ大正五年五月三日午前十時トス

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成低廉を以て懇切を旨とし御需に應ず
京城日報社　寫眞製版部

聞かれよ!!!　世界の大動亂と　フジヤの大奮鬪を
歐洲の大戰起るや貿易市場は大混亂を來し殊に我毛織物界の如きは商品拂底をなし且つ戰局終了の豫期し難く爲めに價格漸次昇騰停止する處なきに至れり然るに弊店は此際常に多大なる御愛顧を蒙る顧客に對し其御需に酬いん爲めに優秀なる技工に最良の材料を以て調製なしたる品を此の時期を顧みず最低廉なる價格を以て提供せんとす
見られよ!!!　先づ今回發行の詳細なる定價表に就て　定價表御入用の方は御申越次第送呈す
各官廳制服及洋服帽子劍其他附屬品
東京市芝區廣町一七　フジヤ商店

月刊雜誌　農業
●本誌には每號病蟲害驅除法の大附錄あり
第貳年四月號發行
定價壹部郵稅共金八錢　半年分四十五錢◉一年分八十錢
大阪市東區味原町百〇二　農業社　振替大阪二九三四三番

タングステン高價買入れ仕り候
□□□重石鑛　十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候
□□□優良なる　七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候
□□□重石鑛主　にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候
□□□弊店は　唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候
京城貞洞二十五番　ジョージ、アーレン商會

（見本進呈）日本荷札
◎出貨ハ機械製ナル故申迄モナシ
◎製造力ハ東洋唯一
東京市神田區和泉町　日本荷札製造合資會社　電話下谷三四二一番　振替八八四九番
（特約店募集）

ダリヤとカンナ
本園のダリヤは既に定評あり ダリヤとカンナの種類の豐富なること栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す
京釜線烏致院　朝鮮興農園　電話三番　振替京城三二七番

日韓書房
新版報告
乙竹岩造著　近刊　教育の進步　定價二圓十錢　送料十二錢
宇野哲人著　四書講義　大學　定價一圓二十錢　送料十二錢
鈴木大拙著　禪の立場から　定價八十錢　送料八錢
大內靑巒著　教育勅語要解　定價一圓　送料十錢
小野美智子著　姉と妹の手紙　定價四十五錢　送料六錢
京城本町二丁目　電話一四五・一二二七番　振替口座二二五番

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉　星印配合肥料、細工用地骨　細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼　牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七〇番　振替口座京城四〇〇番

○慶北各地穀況

○撫順の貨物

出牛檢疫所の建物は朝鮮興業會社事に決し其筋へ認可申請中の處四五月末迄に落成の運びに至るべし[illegible]

沈滯貯米は前途を氣遣ひて弗々市場に出殺するものあるも買潜の踊出し
朝鮮加し中大豆四萬四千四百十四噸豆粕六千九百八十噸小豆百九十九噸葉煙草三百噸薪炭四百四十九噸木炭
密輸入を云爲する者あれども殆んど著據なく必らず隱票を附し且つ税
釜山府龍洙面牛巖洞なる朝鮮牛の移 移出牛檢疫所
出盛况を呈する際に於ては到底收容し難きを以て今回愈々牛舍增築する計をなし本年の内地農繁季節即ち七

師團送迎宴 春雨蕭かに別離の哀愁を唆る

熱誠を罩めたる京龍官民の―送迎會―廿三日鐵道俱樂部にて

柔らかなる春の雨が柳の緑や花の紅を濃く染めて降る二十三日は京城龍山の官民が擧つて第九師團の送別と第十九師團の歡迎とを兼ねて

◆熱誠罩めたる宴

を催すの日であつた、前日來龍山鐵道公園内に宴會場を設け萬端の設備を整へたりしも二十三日の曉明より降り出でたる雨の爲めに俄に宴席を鐵道俱樂部内に移す事となりたり廣大なる俱樂部の四室を打抜きて式場に宛て場内は

◆紅白の幔幕を廻

ぐらし萬國旗草花等を以て飾り四方の各室は疊を上げて縱側に各種の模擬店を設けたり空は曇りながら間斷なく打揚げられたる煙火は勇ましく轟き渡りて定刻前既に場内は來會者を以て埋められたり午後一時三十分庭前に於て耳を劈くばかりの

◆快き爆竹を合圖

として井口軍司令官橋本第九師團長立花第十九師團長を始め第九第十九師團の各將校同相當官約三百名は胸間に閃めく勳章相連らなり帽影相接し何れも笑みを含んで著席すれば續いて第二爆竹を合圖として約五百の會員二室に分れて著席に及ぶ茲に於て金谷京城府尹は

◆發起人總代とし

て送別及び歡迎の挨拶を述べ次に大村百藏氏龍山の有志者を代表し歸還する第九師團の勞を謝し新設第十九師團を歡迎するの辭を述べて退けば橋本第九師團長立ちて第九師團の將校及び同相當官を代表して送別に對する答辭を述べ次で

◆立花新師團長は

歡迎の挨拶に答へて一場の演説あり席に復すると同時に幕屋内より嚠喨たる君が代の奏樂起れば場内森々として水を打ちたるが如くに靜まり返りたり軈て君が代の奏樂終り井口軍司令官の發聲にて

◆兩師團の萬歲を

三唱し和氣藹々たる奏樂の裡に立食の饗あり第三爆竹の合圖にて各種模擬店開催せられ主客打連れて廊下傳ひに、すし、おでん、そば、ビール等の模擬店を巡り笑聲歡語湧くが如く午後三時頃思ひ〳〵に散歸したるが當日の降雨は頗る遺憾とする處なりき

京龍聯合新舊師團歡送迎宴

（上）立花第十九師團長の挨拶（下）參列の主客

賑しい春の街 店頭の裝飾を競ふ本町通り

そゞろ歩きの往き戻り、みるにつけきくにつけ何かは知らず心浮きたちて、兎もすれば胸の高鳴るを覺ゆるのは

◇今日此頃の本町通りの現象◇であると云ふ店舖といふ店舖が敗けず劣らず、ショウヰンドの裝ひを凝らし、白熱瓦斯の光りを添へて散歩に群る人足を惹からうと競ひ合つてゐる。何處のを見ても瑠璃のように透明に拭き清められた飾窓硝子の内には眼も絢なるばかり、華かな燦びやかなさま〴〵の商品が

◇あらゆる人の購買心をそゝら◇なければ置かない樣に整へ立てゝある。しかも主なる店の店頭には宛かも申合せてでもあるやうに端午の節句の飾物が美しく輝いてゐる金襴地の鎧下、赤、青、黄なんどとり〴〵の縅目美しい鎧の光る武者人形、鷲の毛の樣に滑らかな白馬、さては座敷幟に吹流し、鯉幟といふやうないづれを見ても尚武の氣風を表はさぬはない

◇勇ましい五月人形が好な◇なのも面白い古くから傳はる日本の年中行事がだん〳〵廢れてゆかうとする勢ひに逆らつて却つて端午の節句が盛んになつてゆく事は軍國の春の長閑さが思はれる。玩具屋小間物店、呉服店、雜貨店などによつて人形にもそれ〴〵異つた趣きを見せてゐる。昔から一番いゝとされた京都の人形、つゞいて東京、大阪廣島邊りから引かれたものが別居、又は雜居してゐる

◇東京でも淺草邊りによく◇見るものもあれば十軒店邊りのものもある、お粗末、上等品それ〴〵の値段によつて各階級に別れて捌けてゆく、今年の五月人形、鯉幟の景氣は素晴しいものださうだ

此頃は何故眠むたいか 起り易い憂鬱病

お花見時分から初夏にかけては、憂鬱症や腦貧血を起す人が多くなりますが、これは陽氣がよくなるにつれて外出することが多く

■種々雜多な事に 精神を使つたり、感動したりすることなどの多いといふ外部の關係と時候が暖かくなると内臟の血液の動き方が烈しくなるといふ内部の關係とから、自然精神に影響を及ぼして精神病になるのですから、少しでも此病氣の系統のある人は殊に注意をせねばなりませんが又重き病氣に罹つたとかの場合

■身體の弱い子供 に詰込み的の學問をさせるとか、青春期の者が非常な名譽心を起すとか悲觀をするとかいふ場合などにも起るものです。腦貧血は血液の少い人に多く起るもので、營養不給の爲めにも起りますが又精神が尋常な感動を受けた後にも起るものです。腦貧血の起る時は凡て頭痛がして眼が暗く爲て

■嘔吐を催す樣な 氣持になると、前後不覺になつて倒れるのです。其の場合には先づ頭を下げるやうになし、葡萄酒か何か興奮劑を飲ませて靜かに寢かして置くがよろしい。そしてこれらの病氣に罹らぬやうにするには平生營養を怠らず運動不足のないやうに心掛ることですが、又この頃は非常に眠たい時ですが、これは今の氣候が空氣に濕氣が多く身體の方ら汗線から

■有害な瓦斯樣の 發散を爲す時で、其の發散を外部の濕氣が妨げるので、自然腦を壓迫し其の爲めに氣が重くなつて眠氣を催すのでありますから、身體を清潔にして運動を怠らぬ樣にするがよろしい。又食後十五分間位眠るのもいゝ方法です。

六百の馬賊團現はる 鴨江沿岸の警戒

大孤山大東溝附近を根據地とし六百餘名よりなる馬賊の一團現はれ其頭目は不明なるも近日中に安東縣街市を襲ふ可しとの風説あるを逸早くも同地より三里隔りし接梨樹に駐在する警官某が探知し之れを報告したれば知縣衙門にては直ちに會議を開き結果鴨江の流域を警戒すると共に多數の密偵を同地方面に派し巡警防等に二百餘發の彈丸を支給する等大警戒を爲しつゝあり（安東縣）

美しき胡藤隧道 ▲大連市街附近の新設備

大連にては西公園の完成を始めとして星が浦街道及び老虎灘街道に胡藤隧道を作り更に老虎灘より傅家莊を經て星が浦に至る海岸周遊道路を開設するため一兩日前より植林作業に著手せり其植林方法は道路の兩側各二間半幅を風致林地帶とし自然の地形の儘之に二三年生の胡藤を密植すべしとのことなれば相當生育の上は老虎灘街道の風致は得も言はれぬ美觀を呈すべし尙ほ本年度内には寺兒

鬼のやうな母 ▽全北泰仁の兒殺し

全北井邑郡龍北面泰仁居住農石川うた（四二）方に同居石川きくの（三十）は先年世話する者あり同地居住の米穀商岩岡林助なる者に嫁ぎ同棲し居たるが間もなく寡婦となり前記うたの許に立歸り寄食中昨春頃うたの眼を盜み

▲他に仇し男 をつくり不義の快樂に耽り居たるが其の酬ひは覿面に現はれきくのは昨年七月頃より姙娠したれば之れを知りたる拝の驚きは一方ならず世間に對し面目なしと明け暮之れを苦に病み居たるが本月上旬月滿ちてきくのは女子を分娩したるよりうたは俄かに殺意を生じ去る十五日午後九時頃きくのには無理に納得させ

▲半紙二枚を 水に濡らし嬰兒の顏面に押し當て壓殺し屍體は其の儘人知れず他に葬り何氣なく裝ひ居たるも惡事千里を走るの譬へに洩れず何時の間にか其の筋の知る處となり兩人は泰仁憲兵派遣所の手に捕へられ目下嚴重取調を受けつゝあり

橋の下で壓死

京畿道抱川郡西南面自作里の金炳玉（六二）は同面の漢川に架橋工事に從事中去る十四日晝飯を濟まし畜橋の殘部なる橋桁の下に休憩中橋梁上にありたる土砂俄然崩壞して無慘の壓死を遂げたり

大同江の畫舫 平壤名所

畫舫保存會は昨年の如く實用として畫舫一艘新造したるが去る二十日より税關出張所波止場に下し牡丹臺乙密臺の觀光客の便宜を計り居れり

街頭で斬付く 平南中和郡

生れ目下平壤舊市街居住の李養俊（三十）と云ふは生活困難の上より妻李氏（二十）と夫婦喧嘩の絶間無く先月末

無理心中の判決 大阪市

西區新町通三丁目飲食店渡邊恒一方南條藤太（二十）が本年三月三日夜西區裏新町八番座敷中島屋事閣持きぬ方に於て馴染女なる同家の抱へ娼妓田島事上原つたえ（二十）と情死せんとしたるもつたえに斷られたるより短刀にて重傷を負せ自分も其の場に死なんとするところを逮捕されたる事件は十八日大阪地方裁判所刑事第一部にて懲役四年の判決ありたり（大阪）

手初めは二圓

京城北米倉町金聖寬方雇人鄭年豊（二十）は本年二月中同町の雜貨商孔興澤の店頭にありたる現金二圓を掠つ淡ひたるを手初めに四月九日迄に前後六回に亙り同町に於て日韓併合記念章、著物、銀製ピン、蝙蝠の靴、草鞋五足等を窃取し其の都度賣却或は入質して蝙蝠買ひをなしゐたる所を高陽署の手に檢擧されたり

漁船を横領す

全南麗水東町東濱千代松（三十）は以前木浦に居住し居たるが一昨年七月頃かねて懇意の間柄なる福山町居住吉田組仲仕大平孫八より漁船一隻（價格百圓位）を借受け麗水へ出漁中病氣に罹りしを難破したりと僞つて麗水郡蘋浦里金處から惡い心を起し大平には出漁中窓允（五十）へ件の漁船を引渡し四十八圓にて賣却せることが發覺し千代松は直に木浦警察署へ護送されたるが取調の結果全く相違なき旨市立てたるより檢事局に送らる

嬰兒を絞殺す

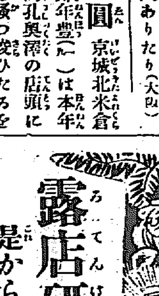
全北井邑郡泰仁面居山里生れ金姓女（二十）と云ふは數年前夫死亡後同郡龍北面上三里朴錫勳方に雇はれ稼ぐ中何時の間にか主人の朴と情を通じ不義の快樂に耽り居たる處遂に罪の胤を身に宿し産月に迫りたるより惡意を起し去る一月十一日便所に於て産氣付き男子を分娩したるを幸ひに袴の紐にて絞め殺し嬰兒は其の儘便所の中に投棄し素知らぬ顏にて濟し居たるを此程に至り其の筋に探知し殺人罪として檢擧せり

無錢大臣は棄却

和歌山縣伊都郡山田村住所不定前科一犯松田善吾（四二）は昨年十二月二十二日無一文にて咸南宣平郡府内面豐川里宿屋業岩本德之助方に投宿し大金を有し居るもの丶如く裝ひ二月九日迄の宿料及び立替金等合計五十九圓七十二錢五厘を踏み倒して逃走したる爲め咸興地方法院にて懲役一年に處せられたるを不服とし京城覆審法院に控訴申立てたるも二十一日控訴棄却となりたり

主家の衣類を盜む

香川縣三豊郡萩原村生れ齋藤鹿太郎（三十）は菓子職工として平壤水玉里井上日韓堂に雇はれ居る内娼妓に馴染を重ねたる結果主家及び知人の衣類を數回窃取して入質し壽町某方に潜伏し居たるを刑事に取押へられ窃盜及び賭博犯にて懲役四箇月罰金十圓に處せらる



露店研究（三） 是から夏向の品 考のない射的場

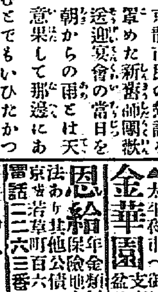
夜市の露店で何が賣れると言つて見たところで一概には言はれないけれども、夜店で賣れる商品の範圍はそんなに廣いものではない。春から夏それから秋口に掛つてゐる丈にその

▽季節季節に よく適合したものを商けば間違ひはない、先づ今頃夜市に露店を出さうとするならば夏がかつた鳥打帽子、襯衣、猿股、タヲル、手巾の類を商けば、何にしろ日に萬を算へる人を相手であるから、例へ同種類の店が何軒あつたにしても悲觀する事はない、羽が生えて飛ぶ樣に賣れるだらうと思はれる。それから夜市の開かれる始めには

▽射的玉轉し といふ樣な朝鮮人を上華客とする射利を目的とした店が澤山出來る。之れは餘り健全なものではなく、勸獎すべき事ではないけれども利益は非常に多く一晩に四五圓、中には十圓近く揚げる者がある。資本といつては煙草の十五圓も置けばいゝので一番簡單なわけであるが、何れ恐うした商賣に手を染めようといふ程の者に眞面目な者は尠ないから

▽不當な利益 を得ようとする、始めの間こそ物見高い低級な朝鮮人が引かゝるが餘り非道い事をするので長くは續かない、一圓儲けようとすれば彼等に與へなければ駄目だ。太く短かくより細く長く儲けた方が營業者にとつても安全な策ではなからうか、こんなものも夜市の繁榮策として必要缺くべからざるものであるとしたらその、營業者は

▽互ひに省み て開雲に不道德な事をせずに永久の計を講じた方がいゝだらう。今年から稻荷の前の所に生きた雀を放してそれを射たして景品を附ける射的場が出來るさうだ、之れなどは先づ公平な方かも知れぬ。射的場の營業は希望者が多く、昨年などは稻荷の近所では場所の賃借の競買が盛んに行はれて三十圓四十圓の値が出た事があつたさうだ（つゞく）



京龍市民の熱誠を罩めた新舊師團歡送迎宴會の當日を朝からの雨とは天意果して那邊にあるかを知るに苦むとでもいひたかつた▲しかし雨にも拘らず主客合せて八百餘名、さしも廣き鐵道俱樂部も肩摩轂擊の盛況だつた▲宴が開かれて何うやら目白押しに食卓には著いたがコップを手にしてから、置けば零れるので遂に電車の中まで持て來て了つたなどは盛況の一斑だ▲處が此盛況に紛れて麥酒や正宗を五六本も兩手に抱へて持ち歸つたのを見た人があるといふが異なれば意地の穢いはなしである▲此頃公園や路傍の櫻などの漸く今年から蕾を付けた位の枝を亂暴とも何とも思ひ切つて折るものがあるが▲何れは麥酒正宗を抱へ込んで持歸る人種の一族でがなあらう

朝鮮總督府 一赤抄色紙三々判正六十英斤右購買ス詳細ハ四月廿四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

易は桐原に限る本館は多年の研究と學術とを以て百中的なり 人事百般並に家相專門 本町三丁目總監部入口 陰陽學士 桐原象考

筑前琵琶教授 隔日教授但日曜祭日休業 教授料一ケ月三圓束修一圓 京城櫻井町一丁目一一七 村上桂秋

京日案内 普通（一回五號金三十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增） 番外（一回金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增）

普通

▲印刷植字工二名至急入用 京城旭町一丁目 電話二一〇八番 中島印刷所 281

ポケット講談文庫 △最新版多數著荷 古本と交換も致します 京城本町二丁目 電二五二七 ツボヤ書店 236

店員及小僧十名入用但商業經驗有者 青葉町二丁目百廿番地 大橋大三郎 275

◎古本なら野村 京城本町一丁目（明治町筋） 電二六三六番 野村書店 16

◎古本品揃底に付無比高價買入誠實御報參上 ▲京城本町四丁目 電話二七八一番へ 御一報次第即刻參上 群書堂 40

◎古本買入 電話八六五 ▲▲御報參上 地方送金 京城本二 森山文光堂書店 17

雇入 年齡十六七歲の男店員數名至急入用希望者は來談あれ 新龍山三角地前陸軍御用商 石見堂 電話三一一 239

番外

▲壽犬 牡四歲金體茶褐色に斑點あり 右十九日行衛不明に付心當りの方は御一報を乞ふ 相當謝禮す 朝鮮銀行内 淵本 274

◎洋傘 男もの女もの小供もの 四月二十三日より同二十九日迄壹割引に致します 京城本町一丁目 高木旅行用具店 270

▼季節と盆栽鉢揃ひ ▲太平夜市へ御越しの方は是非一度御觀覽被下度 支店 盆栽種子安價販賣仕候 金華園 276

恩給 年金 公債 保險 類低利即時立替短期無法あり其他地方在住者不及上京便 京城若草町百六 電話二二六三番 西村商會 265

内弟子入用 十五歲より十八歲迄 琵琶修得希望の女子市内身元引受人を要す 京城櫻井町一丁目一一七 筑前琵琶師 村上桂秋 277

▼引越荷物 安くして責任を重んじます 安全に輸送出來る 患者用寢臺車 南山町三丁目の廿九 電話二九三三番 堀運送社 280

京城 勢山樂器店 ▼バイオリン▲ ▼マンドリン▲ 279

支局主任 一名外交員二名採用す外交員は新聞雜誌の廣告募集に經驗有者に限る 京城本町四丁目四五（杏林堂藥店横） 雜誌『スヽメ』朝鮮總支社 269

朝鮮名產 人參 松都及尾 御入用の方は京城鍾路和平堂藥房へ御請求あれ 振替京城六九七 260

▼鑛物各種分析 京城太平町二の一二五 坂本分析所 225

本店新製 クリームキャラメル 大拾錢 小五錢 パン元祖 木村屋支店 京城明治町 電話二八七〇 22

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館坂の上 電話二一〇二番 25

◎外勤社員採用 但經驗ある者希望者は履歷書携帶來談 京城南大門通二丁目 大同生命保險會社京城出張所 202

▼空氣輪新車 ▲貸金普通同樣 ▼當組特色製本意 東京直輸入 本町三丁目 電話二六八九番 岡本組 車輛 216

恩給 年金無保險低利長期立替短期 不及便法あり其他擔保信用貸付候 京城南大門外 山口屋 245

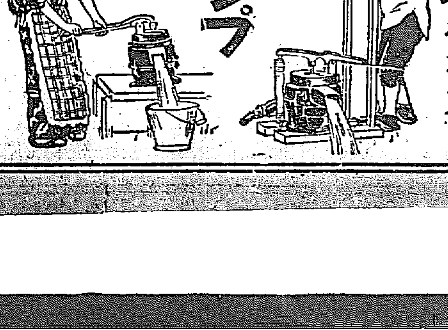
▲電話讓る 京城七十七番 ▲御望みの方は左に 龍山漢江通八三 電話三五五番 富士用達部 238

年金 恩給 類立替短期無保險 融通 地方照會あれ迅速 京城武橋町二三番地 電話二二八三番 國江商會 242

◎本町二丁目の夜櫻 ―二十五日より開園― 觀覽隨意

凡に皆様より本町小公園の推賞を得たる樂園内の樹木も春陽に遇ひまして自ら十株の櫻花を呈し百花麗色を競ふ中にて觀客を迎へる風情であります江湖の上野と祇園を模倣して各樹下に優なるボンボリを配飾し篝火を點じ夜間はアークライトに爛漫たる園内の風色を映寫し不夜城裡の光景は恰かに京城唯一の歡樂場で能く遠き牛耳洞に散策せらるゝの要なきものと存します 特に當園は家族的娛樂場として御婦人御子供衆の御來遊を希ひまする爲め園内各所に『しるこ』『壽司』等の模擬店を新設し誰方樣にも御氣に召す樣に御遺憾なく御用意致しをりますから何卒御來觀の程伏して奉願上ます 京城本町二丁目 清香園 電話三六番

◎松田式ポンプ



灌漑用 家庭用 ポンプ 御申越次第目錄進呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番 二七七四番 振替京城二五六番

千生瓢 (192)

須藤南翠作　筒井年峰畫

羽黒 三

權太左衛門きつと見て『惡巢、長篠に無二の功名を表はして、德川殿の鎧となつたる奥平よな。敵に取つて不足なし。いざや見參仕つらん』と、馬の頭を立て直し、鹽とばかりに槍を合した。信昌は名ある勇將、仁科も覺えの侍である。突けば反ね、拂へば避け、或ひは合し、或ひは離れ、一上一下と突き合ふ程に、權太左衛門何としたるか、信昌が槍を受け損じて、身を交す遑もあらせず、肩先深く貫ぬかれ、川へ闇然と突落された。

『無念！』權太左衛門は一聲叫んで、起き直らんとする處へ、奥平が郎等夏目外記、馬を飜然と飛び下りて、起しも立てず膝に引敷き、安々と首を掻く。此勢ひに乘じて、突き立て薙ぎ立て戰ふほどに、松平が第二陣、酒井が本陣、續いて水をうち渡り、喚き叫んで攻め寄する。森が手の者、多勢を恃むで戰へども、終に突き捲くられて堤に上り、間もなく退き色になつた處に、百錯の一時にはためく如き聲を發つて、動き出た猛者があつた。

『蓬なき者共の足取りではある。戰は斯樣にするものぞ、我を龜鑑に見習へや！』

天地に轟く大音に、呼はり〳〵突いて出るは、是れぞ世に隱れもなき鬼武藏の森長可である。東三河の兵叢も、此の驍將は見知つたり。

『鬼武藏が馬を出したぞ、千騎が一騎に向く首取つて、今日第一の功名せよや』と、互ひに呼びつれ、言ひ傳へて、押取捲いて攻め寄せた。

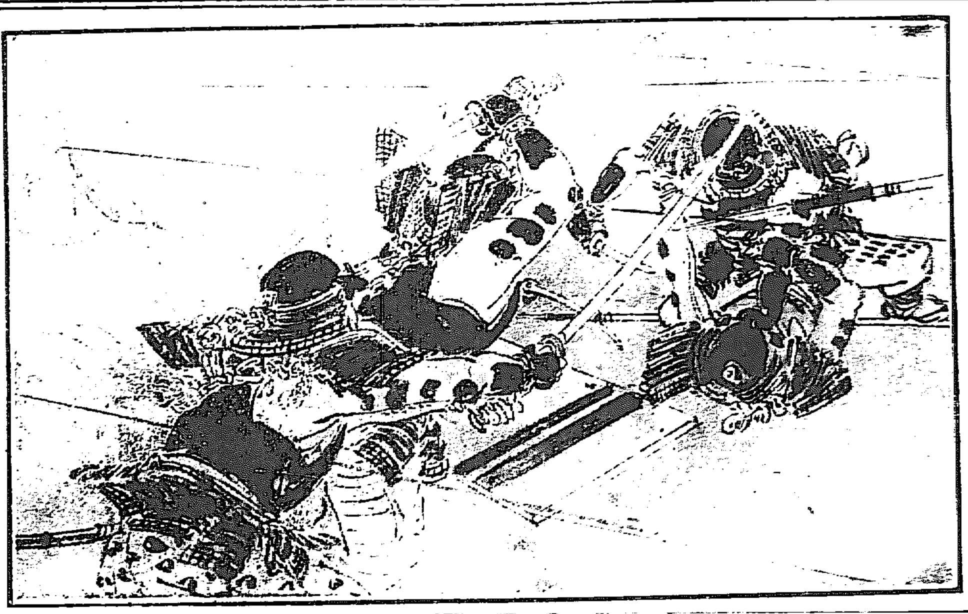
『やあ兵共、世に二度死ぬる者はないぞ、此處を死場に思へよや』

長可は斯う言つて士卒を勵めながら、火水となつて戰ふ程に、忽ち十三騎まで、手の下に突き伏せて、三河勢の眞只中へ、血槍うち振り突きかゝつた。名に負ふ鬼が死もの狂ひに、奥平勢も突き捲くられて、二三町ばかり退ぞいた。松平家忠斯くと見て、見兵六七百騎を率へ、上の瀬をうち渡つて、森が中軍に突いて入る。この事に力を得て奥平勢も氣を取り直し、無二無三に突き返す。流石不敵の武藏守も、前後の敵に度を失ひ、右往左往に驅け立てられ、今は斯うよと見えたのであつた。

此の形勢を見て居たる遠藤但馬守慶隆は、時分はよしと見て取つて、今や川をうち渡り、敵を横より突き崩さんとする處へ、我と同じき月星の纛立て離し、逸やく川を渡して此方に向ふ敵を見た。彼は誰ぞと疑ふ處に、先頭に立つたる騎馬武者の、纛を揭げて聲高に、

『此處に渡り在はするは、郡上の遠藤殿と見るは僻目か。僞樣申す、某も同じ千葉の平氏にて、大須賀五郎左衛門尉康高おざるわ。見參の印しに、いざ受けさせられい』と、揭げたる纛をうち振つた。

これを合圖に、鐵砲二三發、一齊にぶつ放す。遠藤も聞ゆる武者とて之に應じて發砲さするに、彼方は烟の下を潜つて、槍を揃へ、太刀を拔き連れ、面も觸らず殺到する。心得たりと突き合せ、切り結ぶ蓄驅突戰暫しが程こそ戰ふたれ。固より豫期せざりし戰ひの事とて、兵氣全く合はず、遊軍にあつた丹羽勘助氏次、上方勢の退き色になつたる處に、遂二無二に兵を進ませて、はや流をうち渡し、『軍は勝たぞ、こゝを揉めや者共』と飛鳥の如く突き來たる。前面よりは五郎左衛門康高、大身の槍を引つ拔き、眞先に突き進み、側面よりは勘助氏次、渾身の力を一口の太刀に罩め、遠藤目がけて切つて入り、餘さじ遣らじと、眞一文字に馳せかゝる。但馬守慶隆、力儘へず、氣砲まで働なりとも、味方散々に討ちなされて、其身も既に危く見えた處に、累代の家子岡村彌太夫、隴上文右衛門等十三人、主を掩うて防ぎ戰ひ、枕を並べて討死したので、慶隆辛く虎口を脫れ、犬山さして落ち延びた。



日報俳壇

眺子郎選

暖

暖かやふと見る書の在り處　田打夫

備質に鮮女俳居る暖き　同

すり違ふ渡舟に知己や暖き　盾畿

暖かや薪積替えし妻の業　昌山

山肌に滲みし水や暖かき　北星

朧

船の笛きゝつ町行く朧かな　雲帝

朧夜の波吸ふ砂の白さかな　青眼子

疲れ臥す誰が訪ひ來ぬ宿朧　幽谷

春雪

火事止むや淡雪の降る杉靜か　容堂

淡雪に暴れる犢や燕飛べる　同

暴風もさ沖見え明し春の雪　雲帝

殘雪

來飽く程來て片側町殘る雪　麗水子

殘雪や射し鳥探す徑の中　麥園

殘雪や日の偉届かぬ岩の陰　浦子

移民の兒豚追ふ夕日殘る雪　芳岳

殘雪や根上り松の下の苔　南山

新刊紹介

▲生きんとするの努力　不斷なる生活難は月に月に益々吾人を壓迫せんとす此處に於て幾多の不平不滿悲觀厭世を生ずるを救ふの道は如何にして人に敗けぬ丈の努力を以て之に向つて人に敗けぬ丈の努力を以て道を切り開くに在り思想論あり經驗談あり而して本書は之を以て一貫して全編の眼目となす（九十五錢東京市牛込區神樂町一の一東亞堂）

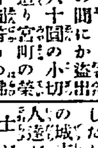
▲實業之世界（二三の八）特記すべきものは紳士の學的方面三宅博士寄稿と築港と水道問題關博士寄稿及論説並に米國の將來日米の外交等其他（十五錢東京市麴町區有樂町一の四實業之世界社）

▲嗜好　九の四　六錢東京市京橋區銀座二丁目明治屋

▲道の友（四月號）天理教の布教雜誌にして教祖の神一條より一條の道を弘めんとするもの（十五錢奈良縣山邊郡丹波市町大字三島八〇其社）

▲養鷄と園藝（三の四）養鷄と園藝との二部に分ち各部實際上に有益なる記事を登載す斯道の好伴侶たるを失はず（十二錢大阪市東區上本町三〇二其社）

▲日本の鬪門（一の三）外交政策の根本義を論じ南洋への日本人發展策等を載す又歐洲戰亂の教訓其他あり（十錢東京市大字東南部町一二其社）



讀者の領分

先日仁川の某店員は主人公の印判を何時の間にか盜出して六十圓の小切手を造り宮町の某料亭に廿圓拂ひの殘りの四十圓は自分の懷中にし其の上途中にて取引先より幾らかの集金を同樣懷中してしらぬ顔の半兵衛で居る内に刑事の耳に入り早速檢事局に突出されたる人物が早や歸宅して居るが不思議です（不審生）▲仁川の無政府事件は其後泣き寢入となるや國際事件ですぞ双方に建築の準備最中ですが中止させる權利の有之等如何那式になつて來た樣だ（萬國公法）▲十七日朝刊四面記事諸者の領分欄内記事に南鮮多島海視察團計畫如何とあり此の行や大に面白し吾等其一行に加はりたし貴下率先して其任に當り計畫せられたし併し多島海は何れの方面にありしや其所在を致示せられよ都合によりては當地でも募集するには往復端書を以て照會す其勞を吝むなくば幸甚（浦項山口生）▲朝から西大門方面へ出掛けましたが更に面白くもないので但ある道邊へ重い箱車を止め種々な不安を感じつゝ深い物思ひに沈んで居りましたらカツ〳〵と聞える勇ましい靴の音ハツと我に返つて面を上げると中學の生徒さんが五六人樂しげに語り合て私の前を通つて行かれました。あゝ僕もあんなに……私の胸は限りない憧憬と羨望との念に閉されて了ひました（一青年）▲龍山は愈々新師團が出來たから之れからの發展は御互の腕次第だ然るに龍山に税關の設けなきは吾々の大に困難する所だ何時かの税關問題は如何なりしや此際是非當地に税關を設けられる樣運動しようではないか運賃でも大分違ふよ是非停車場に税關を設て貰ひたし（龍山商人）

(四●五東京文ワツミ)

天晴な少年

松本幸四郎談

讃岐の武士姦人等の爲に命を落し其子復讐し高札を以て舊主に訴ふ

此はまだ仇討と云ふことが立派な道德として認められて居た時のことでございます。常陸國笠間の城主の臣下に百五十石の祿を取る者がございましたが此士は至つて正直者で誰彼の差別なく善いことは善いと褒め惡いことは惡いと遠慮なく諫めましたので人からは褒められもし又惡まれもしたが何處にも惡人はあるもので此の城主の臣下の惡人達がどうも此士があつては煙たくてしやうがないので申合はせて主人へ讒言しました城主は此の讒言をまことゝ思ひ大に腹を立てゝ此の讒言した人達に此の正直な士を討たせました惡人達は大勢にて此の士の首を上げました此の士の子供が一人ございましたが此時は一風邪を引いて臥せつて居ましたが此の騷ぎに手習の師匠の家へ行つて居た此の息子、殺されたと自分に士の主人になります人の息子が手習に來て居りましたので家の騷ぎを呼び出して細々と告げました息子は驚いて『よく知らせてくれた志の程嬉しいぞ』と云つて其の子はその家へ歸らせ自分はそのまゝ姿を隱しました此時息子は漸う十五歳だつたさうでございます城内では父は討たれ子は行衞不明になつたので祿はそのまゝお取上げ家は斷絶と云ふことになりました此の息子は縁者を頼つて二三年の間此處に隱れて密かに武藝を勵んで居りましたその時父を討ちましたものが江戸の勤番が濟んで歸國すると聞きまして笠間への道へ出まして道添の小高い森陰に忍んで待ち受けて居ました敵は馬に乘つて前後左右を七人の供に圍ませて悠々と通ります息子は森陰から手弓を引絞つて切つて放てば見事敵の胸板を射貫いて敵は馬よりすでんどうと落ちました供の者があわてふためき立騷ぐ處を又もや矢繼早に二三人射殺しましたので餘の者は膽ろいて逃げ去りました息子は悠々と敵の首を取つて笠間城の玄關へ通つて『先年讒言によつて討たれたもの、悴でござるが父上げ度い儀のござつて罷出ましたと申入れましたが皆顔見合せて誰一人取次いたしますものがないので、その首を式臺の上に据えて立去り城下に高札を立てました『主人とは申しながら讒者の片言をも採り用ゐ双方の虛實をたゞさず罪なき父を討たせし恨み骨髓に徹し殘念に候へば先づ父を討ちし者を討取り申候此上は討てと申付けられし殿を討たんと決心いたし居り候』とありますが城主に此ことを告げたものがございましたので返答として『尤も至極の事なり後悔今まで至つて禁せず此度父の仇を討ちし働き感に堪へたり吾に仕ふる心はなきか懇望に堪へず』と板に書いて以前の高札の上に打つけさせました息子は又た『後悔懇望の御辭を聞く上は、今は何の御怨み申し上ぐべきことの候ふべき、早速馳せ參ずべきに候へども一旦浪人せし身の再び世に出でんも候はねば、只此の上は出家遁世仕つるべく候。さりながら君に萬一のことも候はゞ御馬前に馳つけ討死仕まつるべく候』と書いて其上へ打付け何處へか立去つたと云ふことでございますすべて陽氣の華やかな此節に斯樣な話も興ある事かと存じます

●變化せる土星

しく變化し、非常に微弱となつたのみならず、其光輝は撰より大變に弱……天文臺の望遠鏡ではとても惑星を完全に觀測する事が出來ないから實地……は地球の七百倍からあり、其の地殼……は土星全體と同じ性質の物體と云ふ……に投げてゐる、三時間位すると地平……下に沒して了ふが來月七日には新月……事に今では極つて居るのであるこれ……圓移入品價五十六萬七千六百十七圓……にて差引出超一萬四千四百六十三圓……

じます、花は咲き揃ふ郊外には春めいて來る一日長閑に外出をしますに誠に宜しい節でございます此節の習ひとしまして埃が盛ですからお歸りになることゝ存じますが此際お用ゐになる洗料は皮膚に適ひますミツワ石鹸に限りますミツワ石鹸はミツワ人參錠ミツワ椿油本舖として有名な丸見屋商店で日本人の皮膚に適ひます優良な洗料を完成しやうと云ふことで同店試驗部で醫藥理工各科學の專門が研究を重ねました上藤野越智兩工學士が嚴重に監督して精製した理想の石鹸でございます專門家に伺ひますと不純な混合物のない遊離の脂肪も遊離のアルカリもない石鹸は化學上の純

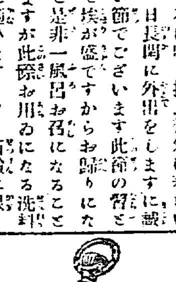
▲中村吉右衛門曰く　香水を用ゐますにも今迄で種々のものがいゝと試りましたが矢張り三百番香水が一番宜しうございます三百番香水にはリイ、イ、レイ、ロオズ、ヴアイオレツト、ムゲツト、など云ふ六種の芳香がありますから此中からお好みの香を選ぶことが出來ます

▲中村又五郎曰く　髮油にはミツワ椿油を普通に用ひて居ますがミツワ椿油は本場の椿實を内地の工場へ取寄せて冷壓法で搾り取つた純良な椿油だけあつて苦味は些もなく髮は乾かず色に赤味がありませんし浸透性も不乾性も充分ですから髮油としては此上なく髮は艶やかによくなり頭垢が出て美しくなります

▲市川壽美藏曰く　折からの暖さに向ひます節には執務や勞働に疲れ易いものですが斯樣な時にはミツワ人參錠を用ゐますと頭腦は明晰となり身體には氣力が回復して再執務や勞働に向ふ元氣が出ますミツワ人參錠は病中病後に用ひますと愛を調へて血色をよくし疲勞を癒し精力を增す

石鹸だと云ふだけでございますが化學上の純石鹸でありますと上に原料に良い脂肪を使ひ皮膚に適ひます樣に精製したもので理想の石鹸でございます斯の資格に合ひますものはミツワ石鹸でございます使つて見ましても此のミツワ石鹸は水にも湯にもよく溶けて雪の樣に白い泡沫が氣持よく立ち此の泡沫をお湯で濡れて膩になつた皮膚に塗りまして掌で靜かに撫でますと汚垢は石鹸の作用で此の泡沫に吸はれる樣になつて泡沫に混ぢりますから此をお湯で流しますと泡沫はすつかりと氣持よく流れ落ちて皮膚は清潔になり白粉ののります調子が他の石鹸を使つた時とは違ひます

●新荷著アンクル式片側懐中時計



時計　蓄音器　ミシン機　自轉車　洋酒　各國直輸入商
京城本町二丁目　電話九七二番
イングレッシー商會

登錄商標　飄水味淋　堺　鳥居商　醸
專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戸大阪行
大正丸　四月　日後四時出帆
大有丸　四月　日後四時出帆
神代丸　五月五日後四時出帆
秀吉丸　四月廿五日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川港町五丁目　杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸　四月五日　正午出帆
相模丸　五月五日　正午出帆
高砂丸　五月十一日　正午出帆
仁川港町　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航船の時は五分引
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
安東丸　四月廿六日
須磨丸　四月三十日　午後五時出帆
天智丸　五月三日
木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
信濃川丸　四月廿九日　後二時出
信濃川丸　五月十一日　後二時出
鎮南浦、大連行
信濃川丸　五月六日　後二時出
信濃川丸　五月廿四日
大連直行
福州丸　四月廿七日　正午出帆
潮州丸　五月九日
群山木浦釜山神戸大阪行
汕頭丸　四月廿四日　午後五時出
群山、釜山、横濱行
潮州丸　四月廿五日　午後二時出帆
群山丸　五月二日
仁川、鎮南浦(元山出帆)　城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
平安丸　四月廿九日　午後二時出帆
宮島丸　五月五日
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸　五月四日　前十時出
基隆丸　五月十五日　前十時出
御注意　○印は一等客御斷り△印は船客御斷り　×印は貨物
切符發賣所
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番
内國通運會社支店

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社
四月廿九日後二時出帆　五月一日九時出帆
第一城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
共同丸　月日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
飛鶴丸　月日前九時出帆
仁川代理店　田中回漕部　河村運送店

朝鮮郵船
金浦　巨濟丸　元山發
江陵丸　毎日　釜山發
永興丸　元山發
平壤丸　四月　元山發
昌城丸　四月廿八日　元山發
京城丸　五月一日　釜山發
平安丸　四月廿四日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸　五月一日　仁川發
晋州丸　四月廿八日　仁川發
江原丸　四月廿八日　仁川發
宗信丸　四月廿六日　仁川發
公州丸　四月廿九日　木浦發
慶興丸　四月廿四日　木浦發
天丸　三日目毎　木浦發
海營丸　毎日　釜山發
三浦丸　四月　釜山發
裏陽丸　毎日　(浦項)發
本社　京城南大門通　電話

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　立神丸　四月　日後五時出帆
○元山清津浦鹽行　立神丸　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　四月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天長丸　毎月二日五日　午後十時出帆
大池回漕部

金泉間自動車發着時間表
織居自動車支部